

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 3
開講期間 / Class period	2016/09/30 ~ 2017/01/24		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20160590029001	科目番号 / Subject code	05900290
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEFR 11119_032		
授業科目名 / Subject	フランス語 (G1~G3) / French I		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(初習), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟36(call2) / RoomC-36(call2)		
対象学生(クラス等) / Object Student	G1~G3		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	eohashi@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	環境科学部棟 1階(123-2)		
担当教員TEL/Tel	095-819-2086		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜日 12:00 - 12:50 水曜日 12:00 - 12:50 木曜日 10:30 - 12:00		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	教科書は< Cafe Francais >を使います。この教科書は、どうすればフランス語でコミュニケーションが上手に取れるようになるかを考えて作られています。また、パリの観光地、ブティック、美術館、カフェ、レストランなどの、美しいだけでなく、現代の流行の最先端をいくフランスの映像も沢山紹介します。さらにフランスのニュースや映画を通してフランスと日本の文化の違いも考え、客観的な物の見方も養います。フランス語初習の学生を対象にし、フランスへ、旅行、語学研修、ホームステイに行った時、日常生活に必要な基礎的な会話を、無理なく学び、フランスの音楽や映画、ニュース等文化的・社会的な側面にも触れることをねらいとします。		
授業到達目標/Goal	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) CALL教室を使用して、基本的に教科書に沿って進みます。</li> <li>(2) 文法や語彙だけではなく、オラルを重視し、ペアになったりグループになったりしながら、質問及びクラスメートに自分の言いたい事を伝える会話の練習を積極的にします。</li> <li>(3) 映像や音楽、インターネットなども利用して、フランス語の生きた使い方や文化を学習します。</li> <li>(4) ディクテ(書き取り)や、教室内でチャットをしたりして、「書く力」をつけ、バランスよくフランス語を学びます。</li> </ul>		
授業方法(学習指導法)/Method	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 単語のつづりや文章を正しく発音できるようにし、数字も覚えます。</li> <li>(2) 冠詞や疑問文、否定文などのフランス語の文法の構造を理解します。</li> <li>(3) 「~である」や「持っている」等の基本的な動詞の活用を覚えます。</li> <li>(4) 挨拶や自己紹介、また相手に質問したり、他人達について説明をできるようにします。</li> </ul>		
授業内容/Class outline/Con	パリで日本語を学ぶフランス人の大学生ドニとパリへフランス語を学びに来た日本人大学生マリがパーティで出会って友人になっていくという内容です。、自分がドニやマリになったつもりでフランスで日常よく使われる会話を楽しく学んでいきましょう。旅行や日常会話のフランス語を楽しく学び、フランス語学習を通じて新しい文化や生活習慣、考え方にふれます。またフランス人の目を通して日本の文化を見直します。		
キーワード/Key word	フランス語		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	教科書:「カフェ フランセ」(朝日出版社) 参考書: 仏和辞典:「デイリーコンサイズ仏和・和仏辞典」(三省堂)を薦めます。生協にあります。または仏和・和仏辞典を搭載した電子辞書もお薦めです。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	定期試験50%、小テスト15%や課題15%、授業態度10%、Fr@ncego(自己学習)10%を総合的に判断する		
受講要件(履修条件)/Requirements			
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL)/Remarks(URL)			

<p>学生へのメッセージ/Message for students</p>	<p>(先輩のメッセージ)  「大学の授業の中で一番フランス語の授業が好きでした！授業を受ける前は、フランス語は難しいと聞いていたし、実際勉強は必要だけれど、すごく楽しかったです！フランスがとても好きになりました！」と先輩も言ってくれています。 昨年は22人の先輩たちがフランスへ語学短期研修に行きました。皆さんもいつかフランスでフランス語を使って下さいね。。</p>
<p>授業計画詳細 / Course Schedule</p>	
<p>回(日時) / Time(date and time)</p>	<p>授業内容 / Contents</p>
<p>第1回</p>	<p>「発音してみよう」(1)  1) アルファベ  2) フランス語の発音規則を学ぼう(1)  3) 相手の呼び方、tu とvous って何?</p>
<p>第2回</p>	<p>「挨拶してみよう」(2)  1) あいさつの表現  2) フランス語の発音の規則を学ぼう(2)  3) フランスの地図(主要都市と周りの国々)を知ろう</p>
<p>第3回</p>	<p>「フランス語の歌を歌おう」  1) ペアでフランス語の歌の歌詞を発音してみる  2) みんなでフランス語の歌をうたってみよう</p>
<p>第4回</p>	<p>「自己紹介をしよう」(1)  1) 「名前は～です」を学ぶ  2) 名前はと言うの?  3) 国籍はと言うの?</p>
<p>第5回</p>	<p>「自己紹介をしよう」(2)  1) 「名前は～です」活用テスト  2) 彼、彼女の名前は?  3) ペアレッスン</p>
<p>第6回</p>	<p>「自己紹介をしよう」(3)  1) 自己紹介をしてみよう  2) 作文・会話練習  3) 練習問題に取り組む</p>
<p>第7回</p>	<p>「どこに住んでるの?」(1)  1) 「～です」を学ぶ  2) 職業を言ってみよう  3) 男性形と女性形</p>
<p>第8回</p>	<p>「どこに住んでるの?」(2)  1) 「～です」活用テスト  2) フランス語の単数形と複数形  3) ペアレッスン</p>
<p>第9回</p>	<p>「コーヒーお願いします」(1)  1) 「住む」を学ぶ  2) カフェで注文してみよう!  3) ペアレッスン</p>
<p>第10回</p>	<p>「コーヒーお願いします」(2)  1) 色々な国名を知ろう  2) 否定文を作ろう  3) 聞き取りをする</p>
<p>第11回</p>	<p>「コーヒーお願いします」(3)  1) 「話す」を学ぶ  2) 数字を言ってみよう  3) リンゴをいくつ買う? それでいくら?</p>
<p>第12回</p>	<p>「メルアド教えて」(1)  1) 動詞活用テスト  2) 「持つ」を学ぶ  3) ペアレッスン</p>
<p>第13回</p>	<p>「メルアド教えて」(2)  1) 兄弟や姉妹はいる?  2) 持ってるものを言ってみよう  3) 君いくつ?</p>
<p>第14回</p>	<p>「メルアド教えて」(3)  1) 冠詞を聞き取ろう  2) 作文・会話練習  3) 練習問題に取り組む</p>
<p>第15回</p>	<p>前期の復習</p>
<p>第16回</p>	<p>統一試験</p>

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 3
開講期間 / Class period	2016/04/06 ~ 2016/07/21		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20160590029002	科目番号 / Subject code	05900290
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEFR 11119_032		
授業科目名 / Subject	フランス語 (M1~M3_T1・T2_K3) / French I		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(初習), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟36(cal12) / RoomC-36(cal12)		
対象学生(クラス等) / Object Student	M1~M3_T1・T2_K2~K3		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	eohashi@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	環境科学部棟 1階(123-2)		
担当教員TEL/Tel	095-819-2086		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜日 12:00 - 12:50 水曜日 12:00 - 12:50 木曜日 10:30 - 12:00		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	教科書は< Cafe Francais >を使います。この教科書は、どうすればフランス語でコミュニケーションが上手に取れるようになるかを考えて作られています。また、パリの観光地、ブティック、美術館、カフェ、レストランなどの、美しいだけでなく、現代の流行の最先端をいくフランスの映像も沢山紹介します。さらにフランスのニュースや映画を通してフランスと日本の文化の違いも考え、客観的な物の見方も養います。フランス語初習の学生を対象にし、フランスへ、旅行、語学研修、ホームステイに行った時、日常生活に必要な基礎的な会話を、無理なく学び、フランスの音楽や映画、ニュース等文化的・社会的な側面にも触れることをねらいとします。		
授業到達目標/Goal	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) CALL教室を使用して、基本的に教科書に沿って進みます。</li> <li>(2) 文法や語彙だけではなく、オラルを重視し、ペアになったりグループになったりしながら、質問及びクラスメートに自分の言いたい事を伝える会話の練習を積極的にします。</li> <li>(3) 映像や音楽、インターネットなども利用して、フランス語の生きた使い方や文化を学習します。</li> <li>(4) ディクテ(書き取り)や、教室内でチャットをしたりして、「書く力」をつけ、バランスよくフランス語を学びます。</li> </ul>		
授業方法(学習指導法)/Method	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 単語のつづりや文章を正しく発音できるようにし、数字も覚えます。</li> <li>(2) 冠詞や疑問文、否定文などのフランス語の文法の構造を理解します。</li> <li>(3) 「~である」や「持っている」等の基本的な動詞の活用を覚えます。</li> <li>(4) 挨拶や自己紹介、また相手に質問したり、他人達について説明をできるようにします。</li> </ul>		
授業内容/Class outline/Con	パリで日本語を学ぶフランス人の大学生ドニとパリへフランス語を学びに来た日本人大学生マリがパーティで出会って友人になっていくという内容です。、自分がドニやマリになったつもりでフランスで日常よく使われる会話を楽しく学んでいきましょう。旅行や日常会話のフランス語を楽しく学び、フランス語学習を通じて新しい文化や生活習慣、考え方にふれます。またフランス人の目を通して日本の文化を見直します。		
キーワード/Key word	フランス語		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	教科書:「カフェ フランセ」(朝日出版社) 参考書: 仏和辞典:「デイリーコンサイズ仏和・和仏辞典」(三省堂)を薦めます。生協にあります。または仏和・和仏辞典を搭載した電子辞書もお薦めです。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	定期試験50%、小テスト15%や課題15%、授業態度10%、Fr@ncego(自己学習)10%を総合的に判断する		
受講要件(履修条件)/Requirements			
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL)/Remarks(URL)			

<p>学生へのメッセージ/Message for students</p>	<p>(先輩のメッセージ)  「大学の授業の中で一番フランス語の授業が好きでした！授業を受ける前は、フランス語は難しいと聞いていたし、実際勉強は必要だけれど、すごく楽しかったです！フランスがとても好きになりました！」と先輩も言ってくれています。 昨年は22人の先輩たちがフランスへ語学短期研修に行きました。皆さんもいつかフランスでフランス語を使って下さいね。。</p>
<p>授業計画詳細 / Course Schedule</p>	
<p>回(日時) / Time(date and time)</p>	<p>授業内容 / Contents</p>
<p>第1回</p>	<p>「発音してみよう」(1)  1) アルファベ  2) フランス語の発音規則を学ぼう(1)  3) 相手の呼び方、tu とvous って何?</p>
<p>第2回</p>	<p>「挨拶してみよう」(2)  1) あいさつの表現  2) フランス語の発音の規則を学ぼう(2)  3) フランスの地図(主要都市と周りの国々)を知ろう</p>
<p>第3回</p>	<p>「フランス語の歌を歌おう」  1) ペアでフランス語の歌の歌詞を発音してみる  2) みんなでフランス語の歌をうたってみよう</p>
<p>第4回</p>	<p>「自己紹介をしよう」(1)  1) 「名前は～です」を学ぶ  2) 名前はと言うの?  3) 国籍はと言うの?</p>
<p>第5回</p>	<p>「自己紹介をしよう」(2)  1) 「名前は～です」活用テスト  2) 彼、彼女の名前は何?  3) ペアレッスン</p>
<p>第6回</p>	<p>「自己紹介をしよう」(3)  1) 自己紹介をしてみよう  2) 作文・会話練習  3) 練習問題に取り組む</p>
<p>第7回</p>	<p>「どこに住んでるの?」(1)  1) 「～です」を学ぶ  2) 職業を言ってみよう  3) 男性形と女性形</p>
<p>第8回</p>	<p>「どこに住んでるの?」(2)  1) 「～です」活用テスト  2) フランス語の単数形と複数形  3) ペアレッスン</p>
<p>第9回</p>	<p>「コーヒーお願いします」(1)  1) 「住む」を学ぶ  2) カフェで注文してみよう!  3) ペアレッスン</p>
<p>第10回</p>	<p>「コーヒーお願いします」(2)  1) 色々な国名を知ろう  2) 否定文を作ろう  3) 聞き取りをする</p>
<p>第11回</p>	<p>「コーヒーお願いします」(3)  1) 「話す」を学ぶ  2) 数字を言ってみよう  3) リンゴをいくつ買う? それでいくら?</p>
<p>第12回</p>	<p>「メルアド教えて」(1)  1) 動詞活用テスト  2) 「持つ」を学ぶ  3) ペアレッスン</p>
<p>第13回</p>	<p>「メルアド教えて」(2)  1) 兄弟や姉妹はいる?  2) 持ってるものを言ってみよう  3) 君いくつ?</p>
<p>第14回</p>	<p>「メルアド教えて」(3)  1) 冠詞を聞き取ろう  2) 作文・会話練習  3) 練習問題に取り組む</p>
<p>第15回</p>	<p>前期の復習</p>
<p>第16回</p>	<p>統一試験</p>

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 3
開講期間 / Class period	2016/04/06 ~ 2016/07/25		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20160590029003	科目番号 / Subject code	05900290
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEFR 11119_032		
授業科目名 / Subject	フランス語 (L1~L6) / French I		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	橋本 千鶴子 / Hashimoto Tiduko, 大橋 絵理 / Oohashi Eri		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	橋本 千鶴子 / Hashimoto Tiduko		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	橋本 千鶴子 / Hashimoto Tiduko		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目 (初習), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟36(call2) / RoomC-36(call2)		
対象学生 (クラス等) / Object Student	L1~L6		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	souslepont03@gmail.com		
担当教員研究室 / Laboratory			
担当教員TEL / Tel			
担当教員オフィスアワー / Office hours	月曜日14:30 - 14:50 (非常勤講師室)		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	教科書は< Cafe Francais >を使います。この教科書は、どうすればフランス語でコミュニケーションが上手に取れるようになるかを考えて作られています。また、パリの観光地、ブティック、美術館、カフェ、レストランなどの、美しいだけでなく、現代の流行の最先端をいくフランスの映像も沢山紹介します。さらにフランスのニュースや映画を通してフランスと日本の文化の違いも考え、客観的な物の見方も養います。フランス語初習の学生を対象にし、フランスへ、旅行、語学研修、ホームステイに行った時、日常生活に必要な基礎的な会話を、無理なく学び、フランスの音楽や映画、ニュース等文化的・社会的な側面にも触れることをねらいとします。		
授業到達目標 / Goal	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) CALL教室を使用して、基本的に教科書に沿って進みます。</li> <li>(2) 文法や語彙だけではなく、オラルを重視し、ペアになったりグループになったりしながら、質問及びクラスメートに自分の言いたい事を伝える会話の練習を積極的にします。</li> <li>(3) 映像や音楽、インターネットなども利用して、フランス語の生きた使い方や文化を学習します。</li> <li>(4) ディクテ(書き取り)や、教室内でチャットをしたりして、「書く力」をつけ、バランスよくフランス語を学びます。</li> </ul>		
授業方法 (学習指導法) / Method	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 単語のつづりや文章を正しく発音できるようにし、数字も覚えます。</li> <li>(2) 冠詞や疑問文、否定文などのフランス語の文法の構造を理解します。</li> <li>(3) 「~である」や「持っている」等の基本的な動詞の活用を覚えます。</li> <li>(4) 挨拶や自己紹介、また相手に質問したり、他人達について説明をできるようにします。</li> </ul>		
授業内容 / Class outline / Con	パリで日本語を学ぶフランス人の大学生ドニとパリへフランス語を学びに来た日本人大学生マリがパーティで出会って友人になっていくという内容です。、自分がドニやマリになったつもりでフランスで日常よく使われる会話を楽しく学んでいきましょう。旅行や日常会話のフランス語を楽しく学び、フランス語学習を通じて新しい文化や生活習慣、考え方にふれます。またフランス人の目を通して日本の文化を見直します。		
キーワード / Key word	フランス語		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	教科書: 「カフェ フランセ」(朝日出版社) 参考書: 仏和辞典: 「デイリーコンサイズ仏和・和仏辞典」(三省堂)を薦めます。生協にあります。または仏和・和仏辞典を搭載した電子辞書もお薦めです。		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	定期試験50%、小テスト15%や課題15%、授業態度10%、Fr@ncego(自己学習)10%を総合的に判断する		
受講要件 (履修条件) / Requirements			
アクセシビリティ / Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks(URL)			

<p>学生へのメッセージ/Message for students</p>	<p>(先輩のメッセージ)  「大学の授業の中で一番フランス語の授業が好きでした！授業を受ける前は、フランス語は難しいと聞いていたし、実際勉強は必要だけれど、すごく楽しかったです！フランスがとても好きになりました！」と先輩も言ってくれています。 昨年は22人の先輩たちがフランスへ語学短期研修に行きました。皆さんもいつかフランスでフランス語を使って下さいね。。</p>
<p>授業計画詳細 / Course Schedule</p>	
<p>回(日時) / Time(date and time)</p>	<p>授業内容 / Contents</p>
<p>第1回</p>	<p>「発音してみよう」(1)  1) アルファベ  2) フランス語の発音規則を学ぼう(1)  3) 相手の呼び方、tu とvous って何?</p>
<p>第2回</p>	<p>「挨拶してみよう」(2)  1) あいさつの表現  2) フランス語の発音の規則を学ぼう(2)  3) フランスの地図(主要都市と周りの国々)を知ろう</p>
<p>第3回</p>	<p>「フランス語の歌を歌おう」  1) ペアでフランス語の歌の歌詞を発音してみる  2) みんなでフランス語の歌をうたってみよう</p>
<p>第4回</p>	<p>「自己紹介をしよう」(1)  1) 「名前は～です」を学ぶ  2) 名前はと言うの?  3) 国籍はと言うの?</p>
<p>第5回</p>	<p>「自己紹介をしよう」(2)  1) 「名前は～です」活用テスト  2) 彼、彼女の名前は?  3) ペアレッスン</p>
<p>第6回</p>	<p>「自己紹介をしよう」(3)  1) 自己紹介をしてみよう  2) 作文・会話練習  3) 練習問題に取り組む</p>
<p>第7回</p>	<p>「どこに住んでるの?」(1)  1) 「～です」を学ぶ  2) 職業を言ってみよう  3) 男性形と女性形</p>
<p>第8回</p>	<p>「どこに住んでるの?」(2)  1) 「～です」活用テスト  2) フランス語の単数形と複数形  3) ペアレッスン</p>
<p>第9回</p>	<p>「コーヒーお願いします」(1)  1) 「住む」を学ぶ  2) カフェで注文してみよう!  3) ペアレッスン</p>
<p>第10回</p>	<p>「コーヒーお願いします」(2)  1) 色々な国名を知ろう  2) 否定文を作ろう  3) 聞き取りをする</p>
<p>第11回</p>	<p>「コーヒーお願いします」(3)  1) 「話す」を学ぶ  2) 数字を言ってみよう  3) リンゴをいくつ買う? それでいくら?</p>
<p>第12回</p>	<p>「メルアド教えて」(1)  1) 動詞活用テスト  2) 「持つ」を学ぶ  3) ペアレッスン</p>
<p>第13回</p>	<p>「メルアド教えて」(2)  1) 兄弟や姉妹はいる?  2) 持ってるものを言ってみよう  3) 君いくつ?</p>
<p>第14回</p>	<p>「メルアド教えて」(3)  1) 冠詞を聞き取ろう  2) 作文・会話練習  3) 練習問題に取り組む</p>
<p>第15回</p>	<p>前期の復習</p>
<p>第16回</p>	<p>統一試験</p>

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 1
開講期間 / Class period	2016/04/06 ~ 2016/07/20		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20160590029004	科目番号 / Subject code	05900290
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEFR 11119_032		
授業科目名 / Subject	フランス語 (E1~E3_P1・P2_F1~F3) / French I		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(初習), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟36(cal12) / RoomC-36(cal12)		
対象学生(クラス等) / Object Student	E1~E3_P1・P2_F1~F3		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	eohashi@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	環境科学部棟 1階(123-2)		
担当教員TEL/Tel	095-819-2086		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜日 12:00 - 12:50 水曜日 12:00 - 12:50 木曜日 10:30 - 12:00		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	教科書は< Cafe Francais >を使います。この教科書は、どうすればフランス語でコミュニケーションが上手に取れるようになるかを考えて作られています。また、パリの観光地、ブティック、美術館、カフェ、レストランなどの、美しいだけでなく、現代の流行の最先端をいくフランスの映像も沢山紹介します。さらにフランスのニュースや映画を通してフランスと日本の文化の違いも考え、客観的な物の見方も養います。フランス語初習の学生を対象にし、フランスへ、旅行、語学研修、ホームステイに行った時、日常生活に必要な基礎的な会話を、無理なく学び、フランスの音楽や映画、ニュース等文化的・社会的な側面にも触れることをねらいとします。		
授業到達目標/Goal	(1) CALL教室を使用して、基本的に教科書に沿って進みます。 (2) 文法や語彙だけではなく、オラルを重視し、ペアになったりグループになったりしながら、質問及びクラスメートに自分の言いたい事を伝える会話の練習を積極的にします。 (3) 映像や音楽、インターネットなども利用して、フランス語の生きた使い方や文化を学習します。 (4) ディクテ(書き取り)や、教室内でチャットをしたりして、「書く力」をつけ、バランスよくフランス語を学びます。		
授業方法(学習指導法)/Method	(1) 単語のつづりや文章を正しく発音できるようにし、数字も覚えます。 (2) 冠詞や疑問文、否定文などのフランス語の文法の構造を理解します。 (3) 「~である」や「持っている」等の基本的な動詞の活用を覚えます。 (4) 挨拶や自己紹介、また相手に質問したり、他人達について説明をできるようにします。		
授業内容/Class outline/Con	パリで日本語を学ぶフランス人の大学生ドニとパリへフランス語を学びに来た日本人大学生マリがパーティで出会って友人になっていくという内容です。、自分がドニやマリになったつもりでフランスで日常よく使われる会話を楽しく学んでいきましょう。旅行や日常会話のフランス語を楽しく学び、フランス語学習を通じて新しい文化や生活習慣、考え方にふれます。またフランス人の目を通して日本の文化を見直します。		
キーワード/Key word	フランス語		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	教科書:「カフェ フランセ」(朝日出版社) 参考書: 仏和辞典:「デイリーコンサイズ仏和・和仏辞典」(三省堂)を薦めます。生協にあります。または仏和・和仏辞典を搭載した電子辞書もお薦めです。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	定期試験50%、小テスト15%や課題15%、授業態度10%、Fr@ncego(自己学習)10%を総合的に判断する		
受講要件(履修条件)/Requirements			
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL)/Remarks(URL)			

<p>学生へのメッセージ/Message for students</p>	<p>(先輩のメッセージ)  「大学の授業の中で一番フランス語の授業が好きでした！授業を受ける前は、フランス語は難しいと聞いていたし、実際勉強は必要だけれど、すごく楽しかったです！フランスがとても好きになりました！」と先輩も言ってくれています。 昨年は22人の先輩たちがフランスへ語学短期研修に行きました。皆さんもいつかフランスでフランス語を使って下さいね。。</p>
<p>授業計画詳細 / Course Schedule</p>	
<p>回(日時) / Time(date and time)</p>	<p>授業内容 / Contents</p>
<p>第1回</p>	<p>「発音してみよう」(1)  1) アルファベ  2) フランス語の発音規則を学ぼう(1)  3) 相手の呼び方、tu とvous って何?</p>
<p>第2回</p>	<p>「挨拶してみよう」(2)  1) あいさつの表現  2) フランス語の発音の規則を学ぼう(2)  3) フランスの地図(主要都市と周りの国々)を知ろう</p>
<p>第3回</p>	<p>「フランス語の歌を歌おう」  1) ペアでフランス語の歌の歌詞を発音してみる  2) みんなでフランス語の歌をうたってみよう</p>
<p>第4回</p>	<p>「自己紹介をしよう」(1)  1) 「名前は～です」を学ぶ  2) 名前はと言うの?  3) 国籍はと言うの?</p>
<p>第5回</p>	<p>「自己紹介をしよう」(2)  1) 「名前は～です」活用テスト  2) 彼、彼女の名前は?  3) ペアレッスン</p>
<p>第6回</p>	<p>「自己紹介をしよう」(3)  1) 自己紹介をしてみよう  2) 作文・会話練習  3) 練習問題に取り組む</p>
<p>第7回</p>	<p>「どこに住んでるの?」(1)  1) 「～です」を学ぶ  2) 職業を言ってみよう  3) 男性形と女性形</p>
<p>第8回</p>	<p>「どこに住んでるの?」(2)  1) 「～です」活用テスト  2) フランス語の単数形と複数形  3) ペアレッスン</p>
<p>第9回</p>	<p>「コーヒーお願いします」(1)  1) 「住む」を学ぶ  2) カフェで注文してみよう!  3) ペアレッスン</p>
<p>第10回</p>	<p>「コーヒーお願いします」(2)  1) 色々な国名を知ろう  2) 否定文を作ろう  3) 聞き取りをする</p>
<p>第11回</p>	<p>「コーヒーお願いします」(3)  1) 「話す」を学ぶ  2) 数字を言ってみよう  3) リンゴをいくつ買う? それでいくら?</p>
<p>第12回</p>	<p>「メルアド教えて」(1)  1) 動詞活用テスト  2) 「持つ」を学ぶ  3) ペアレッスン</p>
<p>第13回</p>	<p>「メルアド教えて」(2)  1) 兄弟や姉妹はいる?  2) 持ってるものを言ってみよう  3) 君いくつ?</p>
<p>第14回</p>	<p>「メルアド教えて」(3)  1) 冠詞を聞き取ろう  2) 作文・会話練習  3) 練習問題に取り組む</p>
<p>第15回</p>	<p>前期の復習</p>
<p>第16回</p>	<p>統一試験</p>



学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 2
開講期間 / Class period	2016/04/06 ~ 2016/07/20		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20160590029005	科目番号 / Subject code	05900290
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEFR 11119_032		
授業科目名 / Subject	フランス語 (E4~E6_M4~M6_D1・D2) / French I		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(初習), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟36(cal12) / RoomC-36(cal12)		
対象学生(クラス等) / Object Student	E4~E6_M4~M6_D1・D2		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	eohashi@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	環境科学部棟 1階(123-2)		
担当教員TEL/Tel	095-819-2086		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜日 12:00 - 12:50 水曜日 12:00 - 12:50 木曜日 10:30 - 12:00		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	教科書は< Cafe Francais >を使います。この教科書は、どうすればフランス語でコミュニケーションが上手に取れるようになるかを考えて作られています。また、パリの観光地、ブティック、美術館、カフェ、レストランなどの、美しいだけでなく、現代の流行の最先端をいくフランスの映像も沢山紹介します。さらにフランスのニュースや映画を通してフランスと日本の文化の違いも考え、客観的な物の見方も養います。フランス語初習の学生を対象にし、フランスへ、旅行、語学研修、ホームステイに行った時、日常生活に必要な基礎的な会話を、無理なく学び、フランスの音楽や映画、ニュース等文化的・社会的な側面にも触れることをねらいとします。		
授業到達目標/Goal	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) CALL教室を使用して、基本的に教科書に沿って進みます。</li> <li>(2) 文法や語彙だけではなく、オラルを重視し、ペアになったりグループになったりしながら、質問及びクラスメートに自分の言いたい事を伝える会話の練習を積極的にします。</li> <li>(3) 映像や音楽、インターネットなども利用して、フランス語の生きた使い方や文化を学習します。</li> <li>(4) ディクテ(書き取り)や、教室内でチャットをしたりして、「書く力」をつけ、バランスよくフランス語を学びます。</li> </ul>		
授業方法(学習指導法)/Method	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 単語のつづりや文章を正しく発音できるようにし、数字も覚えます。</li> <li>(2) 冠詞や疑問文、否定文などのフランス語の文法の構造を理解します。</li> <li>(3) 「~である」や「持っている」等の基本的な動詞の活用を覚えます。</li> <li>(4) 挨拶や自己紹介、また相手に質問したり、他人達について説明をできるようにします。</li> </ul>		
授業内容/Class outline/Con	パリで日本語を学ぶフランス人の大学生ドニとパリへフランス語を学びに来た日本人大学生マリがパーティで出会って友人になっていくという内容です。、自分がドニやマリになったつもりでフランスで日常よく使われる会話を楽しく学んでいきましょう。旅行や日常会話のフランス語を楽しく学び、フランス語学習を通じて新しい文化や生活習慣、考え方にふれます。またフランス人の目を通して日本の文化を見直します。		
キーワード/Key word	フランス語		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	教科書:「カフェ フランセ」(朝日出版社) 参考書: 仏和辞典:「デイリーコンサイズ仏和・和仏辞典」(三省堂)を薦めます。生協にあります。または仏和・和仏辞典を搭載した電子辞書もお薦めです。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	定期試験50%、小テスト15%や課題15%、授業態度10%、Fr@ncego(自己学習)10%を総合的に判断する		
受講要件(履修条件)/Requirements			
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL)/Remarks(URL)			

<p>学生へのメッセージ/Message for students</p>	<p>(先輩のメッセージ)  「大学の授業の中で一番フランス語の授業が好きでした！授業を受ける前は、フランス語は難しいと聞いていたし、実際勉強は必要だけれど、すごく楽しかったです！フランスがとても好きになりました！」と先輩も言ってくれています。 昨年は22人の先輩たちがフランスへ語学短期研修に行きました。皆さんもいつかフランスでフランス語を使って下さいね。。</p>
<p>授業計画詳細 / Course Schedule</p>	
<p>回(日時) / Time(date and time)</p>	<p>授業内容 / Contents</p>
<p>第1回</p>	<p>「発音してみよう」(1)  1) アルファベ  2) フランス語の発音規則を学ぼう(1)  3) 相手の呼び方、tu とvous って何?</p>
<p>第2回</p>	<p>「挨拶してみよう」(2)  1) あいさつの表現  2) フランス語の発音の規則を学ぼう(2)  3) フランスの地図(主要都市と周りの国々)を知ろう</p>
<p>第3回</p>	<p>「フランス語の歌を歌おう」  1) ペアでフランス語の歌の歌詞を発音してみる  2) みんなでフランス語の歌をうたってみよう</p>
<p>第4回</p>	<p>「自己紹介をしよう」(1)  1) 「名前は～です」を学ぶ  2) 名前はと言うの?  3) 国籍はと言うの?</p>
<p>第5回</p>	<p>「自己紹介をしよう」(2)  1) 「名前は～です」活用テスト  2) 彼、彼女の名前は何?  3) ペアレッスン</p>
<p>第6回</p>	<p>「自己紹介をしよう」(3)  1) 自己紹介をしてみよう  2) 作文・会話練習  3) 練習問題に取り組む</p>
<p>第7回</p>	<p>「どこに住んでるの?」(1)  1) 「～です」を学ぶ  2) 職業を言ってみよう  3) 男性形と女性形</p>
<p>第8回</p>	<p>「どこに住んでるの?」(2)  1) 「～です」活用テスト  2) フランス語の単数形と複数形  3) ペアレッスン</p>
<p>第9回</p>	<p>「コーヒーお願いします」(1)  1) 「住む」を学ぶ  2) カフェで注文してみよう!  3) ペアレッスン</p>
<p>第10回</p>	<p>「コーヒーお願いします」(2)  1) 色々な国名を知ろう  2) 否定文を作ろう  3) 聞き取りをする</p>
<p>第11回</p>	<p>「コーヒーお願いします」(3)  1) 「話す」を学ぶ  2) 数字を言ってみよう  3) リンゴをいくつ買う? それでいくら?</p>
<p>第12回</p>	<p>「メルアド教えて」(1)  1) 動詞活用テスト  2) 「持つ」を学ぶ  3) ペアレッスン</p>
<p>第13回</p>	<p>「メルアド教えて」(2)  1) 兄弟や姉妹はいる?  2) 持ってるものを言ってみよう  3) 君いくつ?</p>
<p>第14回</p>	<p>「メルアド教えて」(3)  1) 冠詞を聞き取ろう  2) 作文・会話練習  3) 練習問題に取り組む</p>
<p>第15回</p>	<p>前期の復習</p>
<p>第16回</p>	<p>統一試験</p>

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 1
開講期間 / Class period	2016/04/06 ~ 2016/07/20		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20160590029006	科目番号 / Subject code	05900290
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEFR 11119_032		
授業科目名 / Subject	フランス語 (T3~T10_K1~K2) / French I		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	橋本 千鶴子 / Hashimoto Tiduko, 大橋 絵理 / Oohashi Eri		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	橋本 千鶴子 / Hashimoto Tiduko		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	橋本 千鶴子 / Hashimoto Tiduko		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目 (初習), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟35(call1) / RoomC-35(call1)		
対象学生 (クラス等) / Object Student	T3~T10_K1		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	souslepont03@gmail.com		
担当教員研究室/Laboratory			
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours			
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	教科書は< Cafe Francais >を使います。この教科書は、どうすればフランス語でコミュニケーションが上手に取れるようになるかを考えて作られています。また、パリの観光地、ブティック、美術館、カフェ、レストランなどの、美しいだけでなく、現代の流行の最先端をいくフランスの映像も沢山紹介します。さらにフランスのニュースや映画を通してフランスと日本の文化の違いも考え、客観的な物の見方も養います。フランス語初習の学生を対象にし、フランスへ、旅行、語学研修、ホームステイに行った時、日常生活に必要な基礎的な会話を、無理なく学び、フランスの音楽や映画、ニュース等文化的・社会的な側面にも触れることをねらいとします。		
授業到達目標/Goal	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) CALL教室を使用して、基本的に教科書に沿って進みます。</li> <li>(2) 文法や語彙だけではなく、オラルを重視し、ペアになったりグループになったりしながら、質問及びクラスメートに自分の言いたい事を伝える会話の練習を積極的にします。</li> <li>(3) 映像や音楽、インターネットなども利用して、フランス語の生きた使い方や文化を学習します。</li> <li>(4) ディクテ(書き取り)や、教室内でチャットをしたりして、「書く力」をつけ、バランスよくフランス語を学びます。</li> </ul>		
授業方法 (学習指導法) /Method	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 単語のつづりや文章を正しく発音できるようにし、数字も覚えます。</li> <li>(2) 冠詞や疑問文、否定文などのフランス語の文法の構造を理解します。</li> <li>(3) 「~である」や「持っている」等の基本的な動詞の活用を覚えます。</li> <li>(4) 挨拶や自己紹介、また相手に質問したり、他人達について説明をできるようにします。</li> </ul>		
授業内容/Class outline/Con	パリで日本語を学ぶフランス人の大学生ドニとパリへフランス語を学びに来た日本人大学生マリがパーティで出会って友人になっていくという内容です。、自分がドニやマリになったつもりでフランスで日常よく使われる会話を楽しく学んでいきましょう。旅行や日常会話のフランス語を楽しく学び、フランス語学習を通じて新しい文化や生活習慣、考え方にふれます。またフランス人の目を通して日本の文化を見直します。		
キーワード/Key word	フランス語		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	教科書: 「カフェ フランセ」(朝日出版社) 参考書: 仏和辞典: 「デイリーコンサイズ仏和・和仏辞典」(三省堂)を薦めます。生協にあります。または仏和・和仏辞典を搭載した電子辞書もお薦めです。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	定期試験50%、小テスト15%や課題15%、授業態度10%、Fr@ncego(自己学習)10%を総合的に判断する		
受講要件(履修条件)/Requirements			
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL)/Remarks(URL)			

<p>学生へのメッセージ/Message for students</p>	<p>(先輩のメッセージ)  「大学の授業の中で一番フランス語の授業が好きでした！授業を受ける前は、フランス語は難しいと聞いていたし、実際勉強は必要だけれど、すごく楽しかったです！フランスがとても好きになりました！」と先輩も言ってくれています。 昨年は22人の先輩たちがフランスへ語学短期研修に行きました。皆さんもいつかフランスでフランス語を使って下さいね。。</p>
<p>授業計画詳細 / Course Schedule</p>	
<p>回(日時) / Time(date and time)</p>	<p>授業内容 / Contents</p>
<p>第1回</p>	<p>「発音してみよう」(1)  1) アルファベ  2) フランス語の発音規則を学ぼう(1)  3) 相手の呼び方、tu とvous って何?</p>
<p>第2回</p>	<p>「挨拶してみよう」(2)  1) あいさつの表現  2) フランス語の発音の規則を学ぼう(2)  3) フランスの地図(主要都市と周りの国々)を知ろう</p>
<p>第3回</p>	<p>「フランス語の歌を歌おう」  1) ペアでフランス語の歌の歌詞を発音してみる  2) みんなでフランス語の歌をうたってみよう</p>
<p>第4回</p>	<p>「自己紹介をしよう」(1)  1) 「名前は～です」を学ぶ  2) 名前はと言うの?  3) 国籍はと言うの?</p>
<p>第5回</p>	<p>「自己紹介をしよう」(2)  1) 「名前は～です」活用テスト  2) 彼、彼女の名前は?  3) ペアレッスン</p>
<p>第6回</p>	<p>「自己紹介をしよう」(3)  1) 自己紹介をしてみよう  2) 作文・会話練習  3) 練習問題に取り組む</p>
<p>第7回</p>	<p>「どこに住んでるの?」(1)  1) 「～です」を学ぶ  2) 職業を言ってみよう  3) 男性形と女性形</p>
<p>第8回</p>	<p>「どこに住んでるの?」(2)  1) 「～です」活用テスト  2) フランス語の単数形と複数形  3) ペアレッスン</p>
<p>第9回</p>	<p>「コーヒーお願いします」(1)  1) 「住む」を学ぶ  2) カフェで注文してみよう!  3) ペアレッスン</p>
<p>第10回</p>	<p>「コーヒーお願いします」(2)  1) 色々な国名を知ろう  2) 否定文を作ろう  3) 聞き取りをする</p>
<p>第11回</p>	<p>「コーヒーお願いします」(3)  1) 「話す」を学ぶ  2) 数字を言ってみよう  3) リンゴをいくつ買う?それでいくら?</p>
<p>第12回</p>	<p>「メルアド教えて」(1)  1) 動詞活用テスト  2) 「持つ」を学ぶ  3) ペアレッスン</p>
<p>第13回</p>	<p>「メルアド教えて」(2)  1) 兄弟や姉妹はいる?  2) 持ってるものを言ってみよう  3) 君いくつ?</p>
<p>第14回</p>	<p>「メルアド教えて」(3)  1) 冠詞を聞き取ろう  2) 作文・会話練習  3) 練習問題に取り組む</p>
<p>第15回</p>	<p>前期の復習</p>
<p>第16回</p>	<p>統一試験</p>

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 3
開講期間 / Class period	2016/09/30 ~ 2017/01/25		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20160590031001	科目番号 / Subject code	05900310
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEFR 11219_032		
授業科目名 / Subject	フランス語 (G1~G3) / French II		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(初習), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	[多文化]総合教育研究棟5F CALL教室		
対象学生(クラス等) / Object Student	G1~G3		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	eohashi@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	環境科学部棟1階(123-2)		
担当教員TEL/Tel	095-819-2086		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜日 12:00 - 12:50 水曜日 12:00 - 12:50 木曜日 10:30 - 12:00		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	世界の多くの地域で話され、世界中の学校で学ばれているフランス語。この授業ではフランス語で自分や身の回りのことを語ったり相手に尋ねるといったコミュニケーションの基礎を学びます。学習した知識をすぐにコミュニケーション活動に結びつけ、実践的表現力を身につけていく授業です。		
授業到達目標/Goal	ヨーロッパ言語共通参照枠のA1レベルに到達するための入門段階になります。具体的にはフランス語のアルファベットと綴りの読み方の基礎を覚える、国籍や身分を言う、住んでいるところや出身地について話す、交通手段について話す、などの日常会話ができるようになることです。  (1) 「行く」「来る」「ここはどこ？」などの基本動詞や基本表現を使えるようにします。 (2) 形容詞や代名詞を使い、近い未来や近い過去などを使い、フランス語の文法の構造を理解します。 (3) フランス人との交流においてしばしば話題として取り上げられるスポーツやフランスでの生活に不可欠な道の尋ね方、ホテルの泊り方、レストランでの注文の仕方を学びます。 (4) 簡単なメールが書けるようになります。		
授業方法(学習指導法)/Method	(1) CALL教室を使用して、基本的に教科書に沿って進みます。 (2) 文法だけではなく、オラルを重視し、ペアになったりグループになったりしながら、質問及びクラスメートに自分の言いたい事を伝える会話の練習を積極的にします。 (3) 教室内でチャットをしたり、フランス語のメール書くことによって、「書く力」もつけます。		
授業内容/Class outline/Con	前期の < レバヴァール おしゃべり達 > の続きです。フランス人と実際に交流する時に必要だと思われる実践的な会話や文法を学びます。そしてその過程の中で、フランス語の会話の機能に習熟し、コミュニケーション能力を高めます。また、フランス人の食生活や地方についてビデオやDVDを見ながら理解を深めます。		
キーワード/Key word	フランス語II		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	「カフェ フランセ」(朝日出版社) 辞書(仏和辞典あるいは電子辞書)は必ず必要です。 生協には「デイリーコンサイス仏和和仏辞典」が売っています。なお、電子辞書の「フランス旅行会話」は全く役にたちません。きちんとしたフランス語辞書を入れて下さい。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	定期試験50%、小テスト15%や課題15%、授業態度10%、Fr@ncego(自己学習)10%を総合的に判断する		
受講要件(履修条件)/Requirements			
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL)/Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	意見や疑問に思ったことは、授業中でも授業が終わった後でも、積極的に質問して下さい。語学はコミュニケーションのために勉強します。質問も大切なコミュニケーションです。		
授業計画詳細/Course Schedule			
回(日時)/Time(date and time)	授業内容/Contents		

第1回	「その人どんな人？」(1) 1) どんな外見? 2) どんな性格? 3) ペアレッスンをしてみよう
第2回	「その人どんな人？」(2) 1) 男性、女性の形容詞 2) 私の、彼の所有形容詞を学ぶ 3) インタビューしよう
第3回	「その人どんな人？」(3) 1) 形容詞の単数形、複数形 2) 誰が、どこで、何したの? 3) フランス語を聞き取る
第4回	「これ何？」(1) 1) 家の中の単語を学ぼう 2) 誰がどこにいるの? 3) ペアレッスンをしてみよう
第5回	「これ何？」(2) 1) 「ル」「ラ」を学ぶ 2) どこに住んでるか尋ねよう 3) チャットをしよう
第6回	「これ何？」(3) 1) 「~の国へ」「~の国から」 2) 冠詞を短くする 3) 練習問題を解く
第7回	「これ大好き！」(1) 1) 食べ物、飲み物の単語を覚える 2) 「好き aimer」の動詞を学ぶ 3) ペアレッスン
第8回	「これ大好き！」(2) 1) 好きなものを書こう 2) 1日の行動の動詞を学ぶ 3) 練習問題を解く
第9回	「これ大好き！」(3) 1) 嫌いを言う 2) 趣味は何? 3) 代名詞で置きかえよう
第10回	「どんな服着てる？」(1) 1) 洋服の単語を覚える 2) 「する、つくる faire」の動詞を覚える 3) 比較してみよう
第11回	「どんな服着てる？」(2) 1) 「私に」「彼女に」を学ぶ 2) どんな服着たい? 3) ペアレッスン
第12回	「どんな服着てる？」(3) 1) 天気を言ってみる 2) フランスの地方の天気を知る 3) クラスメートにアンケートをしてみよう
第13回	「ごはんですよ」(1) 1) 食べ物、飲み物につく冠詞って何? 2) おなかですいた 3) フレンチのコース料理について知ろう
第14回	「ごはんですよ」(2) 1) 「欲しいvouloir」の動詞を学ぼう 2) のどがかわいた。 3) フランスの朝ごはんはどんなの?
第15回	「スポーツする？」 1) スポーツの単語を覚える 2) 「買う、乗る、取る prendre」の動詞を学ぶ 3) ペアレッスン
第16回	統一試験

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 3
開講期間 / Class period	2016/09/30 ~ 2017/01/30		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20160590031002	科目番号 / Subject code	05900310
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEFR 11219_032		
授業科目名 / Subject	フランス語 (L1~L6) / French II		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	橋本 千鶴子 / Hashimoto Tiduko, 大橋 絵理 / Ohashi Eri		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	橋本 千鶴子 / Hashimoto Tiduko		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	橋本 千鶴子 / Hashimoto Tiduko		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目 (初習), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟36(call2) / RoomC-36(call2)		
対象学生 (クラス等) / Object Student	L1~L6		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	souslepont03@gmail.com		
担当教員研究室/Laboratory			
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours			
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	世界の多くの地域で話され、世界中の学校で学ばれているフランス語。この授業ではフランス語で自分や身の回りのことを語ったり相手に尋ねるといったコミュニケーションの基礎を学びます。学習した知識をすぐにコミュニケーション活動に結びつけ、実践的表現力を身につけていく授業です。		
授業到達目標/Goal	ヨーロッパ言語共通参照枠のA1レベルに到達するための入門段階になります。具体的にはフランス語のアルファベットと綴りの読み方の基礎を覚える、国籍や身分を言う、住んでいるところや出身地について話す、交通手段について話す、などの日常会話ができるようになることです。  (1) 「行く」「来る」「ここはどこ？」などの基本動詞や基本表現を使えるようにします。 (2) 形容詞や代名詞を使い、近い未来や近い過去などを使い、フランス語の文法の構造を理解します。 (3) フランス人との交流においてしばしば話題として取り上げられるスポーツやフランスでの生活に不可欠な道の尋ね方、ホテルの泊り方、レストランでの注文の仕方を学びます。 (4) 簡単なメールが書けるようになります。		
授業方法 (学習指導法) /Method	(1) CALL教室を使用して、基本的に教科書に沿って進みます。 (2) 文法だけではなく、オラルを重視し、ペアになったりグループになったりしながら、質問及びクラスメートに自分の言いたい事を伝える会話の練習を積極的にします。 (3) 教室内でチャットをしたり、フランス語のメール書くことによって、「書く力」もつけます。		
授業内容/Class outline/Con	前期の < レバヴァール おしゃべり達 > の続きです。フランス人と実際に交流する時に必要だと思われる実践的な会話や文法を学びます。そしてその過程の中で、フランス語の会話の機能に習熟し、コミュニケーション能力を高めます。また、フランス人の食生活や地方についてビデオやDVDを見ながら理解を深めます。		
キーワード/Key word	フランス語II		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	「カフェ フランセ」(朝日出版社) 辞書(仏和辞典あるいは電子辞書)は必ず必要です。生協には「デイリーコンサイス仏和和仏辞典」が売っています。なお、電子辞書の「フランス旅行会話」は全く役にたちません。きちんとしたフランス語辞書を入れて下さい。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	定期試験50%、小テスト15%や課題15%、授業態度10%、Fr@ncego(自己学習)10%を総合的に判断する		
受講要件(履修条件)/Requirements			
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL)/Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	意見や疑問に思ったことは、授業中でも授業が終わった後でも、積極的に質問して下さい。語学はコミュニケーションのために勉強します。質問も大切なコミュニケーションです。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		

第1回	「その人どんな人？」(1) 1) どんな外見? 2) どんな性格? 3) ペアレッスンをしてみよう
第2回	「その人どんな人？」(2) 1) 男性、女性の形容詞 2) 私の、彼の所有形容詞を学ぶ 3) インタビューしよう
第3回	「その人どんな人？」(3) 1) 形容詞の単数形、複数形 2) 誰が、どこで、何したの? 3) フランス語を聞き取る
第4回	「これ何？」(1) 1) 家の中の単語を学ぼう 2) 誰がどこにいるの? 3) ペアレッスンをしてみよう
第5回	「これ何？」(2) 1) 「ル」「ラ」を学ぶ 2) どこに住んでるか尋ねよう 3) チャットをしよう
第6回	「これ何？」(3) 1) 「~の国へ」「~の国から」 2) 冠詞を短くする 3) 練習問題を解く
第7回	「これ大好き！」(1) 1) 食べ物、飲み物の単語を覚える 2) 「好き aimer」の動詞を学ぶ 3) ペアレッスン
第8回	「これ大好き！」(2) 1) 好きなものを書こう 2) 1日の行動の動詞を学ぶ 3) 練習問題を解く
第9回	「これ大好き！」(3) 1) 嫌いを言う 2) 趣味は何? 3) 代名詞で置きかえよう
第10回	「どんな服着てる？」(1) 1) 洋服の単語を覚える 2) 「する、つくる faire」の動詞を覚える 3) 比較してみよう
第11回	「どんな服着てる？」(2) 1) 「私に」「彼女に」を学ぶ 2) どんな服着たい? 3) ペアレッスン
第12回	「どんな服着てる？」(3) 1) 天気を言ってみる 2) フランスの地方の天気を知る 3) クラスメートにアンケートをしてみよう
第13回	「ごはんですよ」(1) 1) 食べ物、飲み物につく冠詞って何? 2) おなかですいた 3) フレンチのコース料理について知ろう
第14回	「ごはんですよ」(2) 1) 「欲しいvouloir」の動詞を学ぼう 2) のどがかわいた。 3) フランスの朝ごはんはどんなの?
第15回	「スポーツする？」 1) スポーツの単語を覚える 2) 「買う、乗る、取る prendre」の動詞を学ぶ 3) ペアレッスン
第16回	統一試験



学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 1
開講期間 / Class period	2016/09/30 ~ 2017/01/25		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20160590031003	科目番号 / Subject code	05900310
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEFR 11219_032		
授業科目名 / Subject	フランス語 (E1・E2_T3~T10) / French II		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	富田 高嗣 / Takatugu Tomita, 大橋 絵理 / Oohashi Eri		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	富田 高嗣 / Takatugu Tomita		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	富田 高嗣 / Takatugu Tomita		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(初習), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟22 / RoomA-22		
対象学生(クラス等) / Object Student	E1・E2_T3~T10		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	tomita@tc.nagasaki-gaigo.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory			
担当教員TEL/Tel	長崎外国語大学 095(840)2000		
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業開始前		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	世界の多くの地域で話され、世界中の学校で学ばれているフランス語。この授業ではフランス語で自分や身の回りのことを語ったり相手に尋ねるといったコミュニケーションの基礎を学びます。学習した知識をすぐにコミュニケーション活動に結びつけ、実践的表現力を身につけていく授業です。		
授業到達目標/Goal	ヨーロッパ言語共通参照枠のA1レベルに到達するための入門段階になります。具体的にはフランス語のアルファベットと綴りの読み方の基礎を覚える、国籍や身分を言う、住んでいるところや出身地について話す、交通手段について話す、などの日常会話ができるようになることです。  (1) 「行く」「来る」「ここはどこ？」などの基本動詞や基本表現を使えるようにします。 (2) 形容詞や代名詞を使い、近い未来や近い過去などを使い、フランス語の文法の構造を理解します。 (3) フランス人との交流においてしばしば話題として取り上げられるスポーツやフランスでの生活に不可欠な道の尋ね方、ホテルの泊り方、レストランでの注文の仕方を学びます。 (4) 簡単なメールが書けるようになります。		
授業方法(学習指導法)/Method	(1) CALL教室を使用して、基本的に教科書に沿って進みます。 (2) 文法だけではなく、オラルを重視し、ペアになったりグループになったりしながら、質問及びクラスメートに自分の言いたい事を伝える会話の練習を積極的にします。 (3) 教室内でチャットをしたり、フランス語のメール書くことによって、「書く力」もつけます。		
授業内容/Class outline/Con	前期の < レバヴァール おしゃべり達 > の続きです。フランス人と実際に交流する時に必要だと思われる実践的な会話や文法を学びます。そしてその過程の中で、フランス語の会話の機能に習熟し、コミュニケーション能力を高めます。また、フランス人の食生活や地方についてビデオやDVDを見ながら理解を深めます。		
キーワード/Key word	フランス語II		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	「カフェ フランセ」(朝日出版社) 辞書(仏和辞典あるいは電子辞書)は必ず必要です。 生協には「デイリーコンサイス仏和和仏辞典」が売っています。なお、電子辞書の「フランス旅行会話」は全く役にたちません。きちんとしたフランス語辞書を入れて下さい。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	定期試験50%、小テスト15%や課題15%、授業態度10%、Fr@ncego(自己学習)10%を総合的に判断する		
受講要件(履修条件)/Requirements			
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL)/Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	意見や疑問に思ったことは、授業中でも授業が終わった後でも、積極的に質問して下さい。語学はコミュニケーションのために勉強します。質問も大切なコミュニケーションです。		
授業計画詳細/Course Schedule			
回(日時)/Time(date and time)	授業内容/Contents		

第1回	「その人どんな人？」(1) 1) どんな外見? 2) どんな性格? 3) ペアレッスンをしてみよう
第2回	「その人どんな人？」(2) 1) 男性、女性の形容詞 2) 私の、彼の所有形容詞を学ぶ 3) インタビューしよう
第3回	「その人どんな人？」(3) 1) 形容詞の単数形、複数形 2) 誰が、どこで、何したの? 3) フランス語を聞き取る
第4回	「これ何？」(1) 1) 家の中の単語を学ぼう 2) 誰がどこにいるの? 3) ペアレッスンをしてみよう
第5回	「これ何？」(2) 1) 「ル」「ラ」を学ぶ 2) どこに住んでるか尋ねよう 3) チャットをしよう
第6回	「これ何？」(3) 1) 「~の国へ」「~の国から」 2) 冠詞を短くする 3) 練習問題を解く
第7回	「これ大好き！」(1) 1) 食べ物、飲み物の単語を覚える 2) 「好き aimer」の動詞を学ぶ 3) ペアレッスン
第8回	「これ大好き！」(2) 1) 好きなものを書こう 2) 1日の行動の動詞を学ぶ 3) 練習問題を解く
第9回	「これ大好き！」(3) 1) 嫌いを言う 2) 趣味は何? 3) 代名詞で置きかえよう
第10回	「どんな服着てる？」(1) 1) 洋服の単語を覚える 2) 「する、つくる faire」の動詞を覚える 3) 比較してみよう
第11回	「どんな服着てる？」(2) 1) 「私に」「彼女に」を学ぶ 2) どんな服着たい? 3) ペアレッスン
第12回	「どんな服着てる？」(3) 1) 天気を言ってみる 2) フランスの地方の天気を知る 3) クラスメートにアンケートをしてみよう
第13回	「ごはんですよ」(1) 1) 食べ物、飲み物につく冠詞って何? 2) おなかですいた 3) フレンチのコース料理について知ろう
第14回	「ごはんですよ」(2) 1) 「欲しいvouloir」の動詞を学ぼう 2) のどがかわいた。 3) フランスの朝ごはんはどんなの?
第15回	「スポーツする？」 1) スポーツの単語を覚える 2) 「買う、乗る、取る prendre」の動詞を学ぶ 3) ペアレッスン
第16回	統一試験

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 2
開講期間 / Class period	2016/09/30 ~ 2017/01/25		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20160590031004	科目番号 / Subject code	05900310
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEFR 11219_032		
授業科目名 / Subject	フランス語 (E3~E6_M1~M3) / French II		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(初習), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟36(call2) / RoomC-36(call2)		
対象学生(クラス等) / Object Student	E3~E6_M1~M3		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	eohashi@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	環境科学部棟1階(123-2)		
担当教員TEL/Tel	095-819-2086		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜日 12:00 - 12:50 水曜日 12:00 - 12:50 木曜日 10:30 - 12:00		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	世界の多くの地域で話され、世界中の学校で学ばれているフランス語。この授業ではフランス語で自分や身の回りのことを語ったり相手に尋ねるといったコミュニケーションの基礎を学びます。学習した知識をすぐにコミュニケーション活動に結びつけ、実践的表現力を身につけていく授業です。		
授業到達目標/Goal	ヨーロッパ言語共通参照枠のA1レベルに到達するための入門段階になります。具体的にはフランス語のアルファベットと綴りの読み方の基礎を覚える、国籍や身分を言う、住んでいるところや出身地について話す、交通手段について話す、などの日常会話ができるようになることです。  (1) 「行く」「来る」「ここはどこ？」などの基本動詞や基本表現を使えるようにします。 (2) 形容詞や代名詞を使い、近い未来や近い過去などを使えるようにし、フランス語の文法の構造を理解します。 (3) フランス人との交流においてしばしば話題として取り上げられるスポーツやフランスでの生活に不可欠な道の尋ね方、ホテルの泊り方、レストランでの注文の仕方を学びます。 (4) 簡単なメールが書けるようになります。		
授業方法(学習指導法)/Method	(1) CALL教室を使用して、基本的に教科書に沿って進みます。 (2) 文法だけではなく、オラルを重視し、ペアになったりグループになったりしながら、質問及びクラスメートに自分の言いたい事を伝える会話の練習を積極的にします。 (3) 教室内でチャットをしたり、フランス語のメール書くことによって、「書く力」もつけます。		
授業内容/Class outline/Con	前期の < レバヴァール おしゃべり達 > の続きです。フランス人と実際に交流する時に必要だと思われる実践的な会話や文法を学びます。そしてその過程の中で、フランス語の会話の機能に習熟し、コミュニケーション能力を高めます。また、フランス人の食生活や地方についてビデオやDVDを見ながら理解を深めます。		
キーワード/Key word	フランス語II		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	「カフェ フランセ」(朝日出版社) 辞書(仏和辞典あるいは電子辞書)は必ず必要です。 生協には「デイリーコンサイス仏和和仏辞典」が売っています。なお、電子辞書の「フランス旅行会話」は全く役にたちません。きちんとしたフランス語辞書を入れて下さい。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	定期試験50%、小テスト15%や課題15%、授業態度10%、Fr@ncego(自己学習)10%を総合的に判断する		
受講要件(履修条件)/Requirements			
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL)/Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	意見や疑問に思ったことは、授業中でも授業が終わった後でも、積極的に質問して下さい。語学はコミュニケーションのために勉強します。質問も大切なコミュニケーションです。		
授業計画詳細/Course Schedule			
回(日時)/Time(date and time)	授業内容/Contents		

第1回	「その人どんな人？」(1) 1) どんな外見? 2) どんな性格? 3) ペアレッスンをしてみよう
第2回	「その人どんな人？」(2) 1) 男性、女性の形容詞 2) 私の、彼の所有形容詞を学ぶ 3) インタビューしよう
第3回	「その人どんな人？」(3) 1) 形容詞の単数形、複数形 2) 誰が、どこで、何したの? 3) フランス語を聞き取る
第4回	「これ何？」(1) 1) 家の中の単語を学ぼう 2) 誰がどこにいるの? 3) ペアレッスンをしてみよう
第5回	「これ何？」(2) 1) 「ル」「ラ」を学ぶ 2) どこに住んでるか尋ねよう 3) チャットをしよう
第6回	「これ何？」(3) 1) 「~の国へ」「~の国から」 2) 冠詞を短くする 3) 練習問題を解く
第7回	「これ大好き！」(1) 1) 食べ物、飲み物の単語を覚える 2) 「好き aimer」の動詞を学ぶ 3) ペアレッスン
第8回	「これ大好き！」(2) 1) 好きなものを書こう 2) 1日の行動の動詞を学ぶ 3) 練習問題を解く
第9回	「これ大好き！」(3) 1) 嫌いを言う 2) 趣味は何? 3) 代名詞で置きかえよう
第10回	「どんな服着てる？」(1) 1) 洋服の単語を覚える 2) 「する、つくる faire」の動詞を覚える 3) 比較してみよう
第11回	「どんな服着てる？」(2) 1) 「私に」「彼女に」を学ぶ 2) どんな服着たい? 3) ペアレッスン
第12回	「どんな服着てる？」(3) 1) 天気を言ってみる 2) フランスの地方の天気を知る 3) クラスメートにアンケートをしてみよう
第13回	「ごはんですよ」(1) 1) 食べ物、飲み物につく冠詞って何? 2) おなかですいた 3) フレンチのコース料理について知ろう
第14回	「ごはんですよ」(2) 1) 「欲しいvouloir」の動詞を学ぼう 2) のどがかわいた。 3) フランスの朝ごはんはどんなの?
第15回	「スポーツする？」 1) スポーツの単語を覚える 2) 「買う、乗る、取る prendre」の動詞を学ぶ 3) ペアレッスン
第16回	統一試験

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 1
開講期間 / Class period	2016/09/30 ~ 2017/01/25		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20160590031005	科目番号 / Subject code	05900310
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEFR 11219_032		
授業科目名 / Subject	フランス語 (P1・P2_M4~M6_F1~F3) / French II		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(初習), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟36(cal12) / RoomC-36(cal12)		
対象学生(クラス等) / Object Student	P1・P2_M4~M6_F1~F3		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	eohashi@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	環境科学部棟1階(123-2)		
担当教員TEL/Tel	095-819-2086		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜日 12:00 - 12:50 水曜日 12:00 - 12:50 木曜日 10:30 - 12:00		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	世界の多くの地域で話され、世界中の学校で学ばれているフランス語。この授業ではフランス語で自分や身の回りのことを語ったり相手に尋ねるといったコミュニケーションの基礎を学びます。学習した知識をすぐにコミュニケーション活動に結びつけ、実践的表現力を身につけていく授業です。		
授業到達目標/Goal	ヨーロッパ言語共通参照枠のA1レベルに到達するための入門段階になります。具体的にはフランス語のアルファベットと綴りの読み方の基礎を覚える、国籍や身分を言う、住んでいるところや出身地について話す、交通手段について話す、などの日常会話ができるようになることです。  (1) 「行く」「来る」「ここはどこ？」などの基本動詞や基本表現を使えるようにします。 (2) 形容詞や代名詞を使い、近い未来や近い過去などを使えるようにし、フランス語の文法の構造を理解します。 (3) フランス人との交流においてしばしば話題として取り上げられるスポーツやフランスでの生活に不可欠な道の尋ね方、ホテルの泊り方、レストランでの注文の仕方を学びます。 (4) 簡単なメールが書けるようになります。		
授業方法(学習指導法)/Method	(1) CALL教室を使用して、基本的に教科書に沿って進みます。 (2) 文法だけではなく、オラルを重視し、ペアになったりグループになったりしながら、質問及びクラスメートに自分の言いたい事を伝える会話の練習を積極的にします。 (3) 教室内でチャットをしたり、フランス語のメール書くことによって、「書く力」もつけます。		
授業内容/Class outline/Con	前期の < レバヴァール おしゃべり達 > の続きです。フランス人と実際に交流する時に必要だと思われる実践的な会話や文法を学びます。そしてその過程の中で、フランス語の会話の機能に習熟し、コミュニケーション能力を高めます。また、フランス人の食生活や地方についてビデオやDVDを見ながら理解を深めます。		
キーワード/Key word	フランス語II		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	「カフェ フランセ」(朝日出版社) 辞書(仏和辞典あるいは電子辞書)は必ず必要です。 生協には「デイリーコンサイス仏和和仏辞典」が売っています。なお、電子辞書の「フランス旅行会話」は全く役にたちません。きちんとしたフランス語辞書を入れて下さい。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	定期試験50%、小テスト15%や課題15%、授業態度10%、Fr@ncego(自己学習)10%を総合的に判断する		
受講要件(履修条件)/Requirements			
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL)/Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	意見や疑問に思ったことは、授業中でも授業が終わった後でも、積極的に質問して下さい。語学はコミュニケーションのために勉強します。質問も大切なコミュニケーションです。		
授業計画詳細/Course Schedule			
回(日時)/Time(date and time)	授業内容/Contents		

第1回	「その人どんな人？」(1) 1) どんな外見? 2) どんな性格? 3) ペアレッスンをしてみよう
第2回	「その人どんな人？」(2) 1) 男性、女性の形容詞 2) 私の、彼の所有形容詞を学ぶ 3) インタビューしよう
第3回	「その人どんな人？」(3) 1) 形容詞の単数形、複数形 2) 誰が、どこで、何したの? 3) フランス語を聞き取る
第4回	「これ何？」(1) 1) 家の中の単語を学ぼう 2) 誰がどこにいるの? 3) ペアレッスンをしてみよう
第5回	「これ何？」(2) 1) 「ル」「ラ」を学ぶ 2) どこに住んでるか尋ねよう 3) チャットをしよう
第6回	「これ何？」(3) 1) 「~の国へ」「~の国から」 2) 冠詞を短くする 3) 練習問題を解く
第7回	「これ大好き！」(1) 1) 食べ物、飲み物の単語を覚える 2) 「好き aimer」の動詞を学ぶ 3) ペアレッスン
第8回	「これ大好き！」(2) 1) 好きなものを書こう 2) 1日の行動の動詞を学ぶ 3) 練習問題を解く
第9回	「これ大好き！」(3) 1) 嫌いを言う 2) 趣味は何? 3) 代名詞で置きかえよう
第10回	「どんな服着てる？」(1) 1) 洋服の単語を覚える 2) 「する、つくる faire」の動詞を覚える 3) 比較してみよう
第11回	「どんな服着てる？」(2) 1) 「私に」「彼女に」を学ぶ 2) どんな服着たい? 3) ペアレッスン
第12回	「どんな服着てる？」(3) 1) 天気を言ってみる 2) フランスの地方の天気を知る 3) クラスメートにアンケートをしてみよう
第13回	「ごはんですよ」(1) 1) 食べ物、飲み物につく冠詞って何? 2) おなかですいた 3) フレンチのコース料理について知ろう
第14回	「ごはんですよ」(2) 1) 「欲しいvouloir」の動詞を学ぼう 2) のどがかわいた。 3) フランスの朝ごはんはどんなの?
第15回	「スポーツする？」 1) スポーツの単語を覚える 2) 「買う、乗る、取る prendre」の動詞を学ぶ 3) ペアレッスン
第16回	統一試験

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 3
開講期間 / Class period	2016/09/30 ~ 2017/01/26		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20160590031006	科目番号 / Subject code	05900310
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEFR 11219_032		
授業科目名 / Subject	フランス語 (D1・D2_T1・T2_K1~K3) / French II		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	橋本 千鶴子 / Hashimoto Tiduko, 大橋 絵理 / Oohashi Eri		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	橋本 千鶴子 / Hashimoto Tiduko		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	橋本 千鶴子 / Hashimoto Tiduko		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目 (初習), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟36(cal12) / RoomC-36(cal12)		
対象学生 (クラス等) / Object Student	D1・D2_T1・T2_K1~K3		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	souslepont03@gmail.com		
担当教員研究室 / Laboratory			
担当教員TEL / Tel			
担当教員オフィスアワー / Office hours			
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	世界の多くの地域で話され、世界中の学校で学ばれているフランス語。この授業ではフランス語で自分や身の回りのことを語ったり相手に尋ねるといったコミュニケーションの基礎を学びます。学習した知識をすぐにコミュニケーション活動に結びつけ、実践的表現力を身につけていく授業です。		
授業到達目標 / Goal	ヨーロッパ言語共通参照枠のA1レベルに到達するための入門段階になります。具体的にはフランス語のアルファベットと綴りの読み方の基礎を覚える、国籍や身分を言う、住んでいるところや出身地について話す、交通手段について話す、などの日常会話ができるようになることです。 (1) 「行く」「来る」「ここはどこ？」などの基本動詞や基本表現を使えるようにします。 (2) 形容詞や代名詞を使い、近い未来や近い過去などを使えるようにし、フランス語の文法の構造を理解します。 (3) フランス人との交流においてしばしば話題として取り上げられるスポーツやフランスでの生活に不可欠な道の尋ね方、ホテルの泊り方、レストランでの注文の仕方を学びます。 (4) 簡単なメールが書けるようにします。		
授業方法 (学習指導法) / Method	(1) CALL教室を使用して、基本的に教科書に沿って進みます。 (2) 文法だけではなく、オラルを重視し、ペアになったりグループになったりしながら、質問及びクラスメートに自分の言いたい事を伝える会話の練習を積極的にします。 (3) 教室内でチャットをしたり、フランス語のメール書くことによって、「書く力」もつけます。		
授業内容 / Class outline / Con	前期の < レ バヴァール おしゃべり達 > の続きです。 フランス人と実際に交流する時に必要だと思われる実践的な会話や文法を学びます。そしてその過程の中で、フランス語の会話の機能に習熟し、コミュニケーション能力を高めます。また、フランス人の食生活や地方についてビデオやDVDを見ながら理解を深めます。		
キーワード / Key word	フランス語II		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	「カフェ フランセ」(朝日出版社) 辞書(仏和辞典あるいは電子辞書)は必ず必要です。 生協には「デイリーコンサイズ仏和和仏辞典」が売っています。なお、電子辞書の「フランス旅行会話」は全く役にたちません。きちんとしたフランス語辞書を入れて下さい。		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	定期試験 50%、小テスト 15% や課題 15%、授業態度 10%、Fr@ncego (自己学習) 10% を総合的に判断する		
受講要件 (履修条件) / Requirements			
アクセシビリティ / Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	意見や疑問に思ったことは、授業中でも授業が終わった後でも、積極的に質問して下さい。語学はコミュニケーションのために勉強します。質問も大切なコミュニケーションです。		
授業計画詳細 / Course Schedule			

回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	「その人どんな人？」(1) 1) どんな外見? 2) どんな性格? 3) ペアレッスンをしてみよう
第2回	「その人どんな人？」(2) 1) 男性、女性の形容詞 2) 私の、彼の所有形容詞を学ぶ 3) インタビューしよう
第3回	「その人どんな人？」(3) 1) 形容詞の単数形、複数形 2) 誰が、どこで、何したの? 3) フランス語を聞き取ろう
第4回	「これ何？」(1) 1) 家の中の単語を学ぼう 2) 誰がどこにいるの? 3) ペアレッスンをしてみよう
第5回	「これ何？」(2) 1) 「ル」「ラ」を学ぶ 2) どこに住んでるか尋ねよう 3) チャットをしよう
第6回	「これ何？」(3) 1) 「~の国へ」「~の国から」 2) 冠詞を短くする 3) 練習問題を解く
第7回	「これ大好き！」(1) 1) 食べ物、飲み物の単語を覚える 2) 「好き aimer」の動詞を学ぶ 3) ペアレッスン
第8回	「これ大好き！」(2) 1) 好きなものを書こう 2) 1日の行動の動詞を学ぶ 3) 練習問題を解く
第9回	「これ大好き」(3) 1) 嫌いを言う 2) 趣味は何? 3) 代名詞で置きかえよう
第10回	「どんな服着てる？」(1) 1) 洋服の単語を覚える 2) 「する、つくる faire」の動詞を覚える 3) 比較してみよう
第11回	「どんな服着てる？」(2) 1) 「私に」「彼女に」を学ぶ 2) どんな服着たい? 3) ペアレッスン
第12回	「どんな服着てる？」(3) 1) 天気を言ってみる 2) フランスの地方の天気を知る 3) クラスメートにアンケートをしてみよう
第13回	「ごはんですよ」(1) 1) 食べ物、飲み物につく冠詞って何? 2) おなかがすいた 3) フレンチのコース料理について知ろう
第14回	「ごはんですよ」(2) 1) 「欲しいvouloir」の動詞を学ぼう 2) のどがかわいた。 3) フランスの朝ごはんはどんなの?
第15回	「スポーツする？」 1) スポーツの単語を覚える 2) 「買う、乗る、取る prendre」の動詞を学ぶ 3) ペアレッスン
第16回	統一試験



学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 1
開講期間 / Class period	2016/04/06 ~ 2016/07/21		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20160590033001	科目番号 / Subject code	05900330
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEFR 11319_032		
授業科目名 / Subject	フランス語 (2G1~2G3) / French III		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目(初習), 外国語科目		
対象年次 / Year	2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	[多文化]総合教育研究棟5F CALL教室		
対象学生(クラス等) / Object Student	2G1~2G3		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	eohashi@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	環境科学部棟1階(123-2)		
担当教員TEL/Tel	095-819-2086		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜日 12:00 - 12:50 水曜日 12:00 - 12:50 木曜日 10:30 - 12:00		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	教科書はH27年度フランス語 で使用した<Les Bavards>を継続使用します。おしゃべりな動物たちが話すフランス語を通じて、日常の基本コミュニケーションに必要な語句、表現を身につけ、文の仕組みを明らかにする文法も併せて学んでいきます。教科書の内容だけでなく、フランス語が話されている背景であるフランスの社会や文化、歴史にも目を向けるために映像や画像、音楽も積極的に取り入れていきます。		
授業到達目標/Goal	(1)重要基本動詞の現在形活用を覚える (2)数・曜日・余暇etc.の語彙を覚える (3)一週間の予定を話す・道を尋ねる/教える・時間を言うetc.の表現を覚える		
授業方法(学習指導法) / Method	基本的に教科書に沿って授業を進めます。覚えた語彙と表現を使ってペアでコミュニケーション練習をする時間が増えてきます。		
授業内容/Class outline/Con	授業計画を参照してください。		
キーワード/Key word	フランス語 コミュニケーション		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	教科書:「レ バヴァール」(アシェットジャパン出版) 参考書: 仏和辞典:「デイリーコンサイス仏和・和仏辞典」(三省堂)を薦めます。生協にあります。または仏和・和仏辞典を搭載した電子辞書もお薦めです。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	定期試験50%、小テスト15%や課題15%、授業態度10%、Fr@ncego(自己学習)10%を総合的に判断します。		
受講要件(履修条件) / Requirements			
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL) / Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students			
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第一回	「週末は何を？」 不規則動詞faire(する)の活用・~するのが好き 趣味・スポーツの単語		
第二回	「週末は何を？」 休みの過ごし方について話す pouvoir(できる), devoir(ねばならない), vouloir(したい), savoir(できる), aller(つもり)+不定法		
第三回	「何時ですか？」 時間を尋ねる・答える表現 いろいろな時刻表現		
第四回	「何時ですか？」 時間を言う 代名動詞(se __), 倒置疑問文		

第五回	「何時ですか？」 一日の過ごし方について話す 宿題：補足練習問題
第六回	「映画に行かない？」 誘う、友達を何か・どこかに誘ってみる 曜日
第七回	「映画に行かない？」 一週間の予定を言う 主語代名詞on(私たちは・人々は)
第八回	「映画に行かない？」 一週間の予定を立てる 宿題：補足練習問題
第九回	「駅はどう行ったらいいの？」 話しかける、礼を言う ～はどこですか？ 方向の言い方
第十回	「駅はどう行ったらいいの？」 場所・道を尋ねる・答える 道案内の練習
第十一回	「駅はどう行ったらいいの？」 読み取る練習 命令法・序数(～番目の) 宿題：補足練習問題
第十二回	「いくらになりますか？」 買い物の表現：フランスのmarché(市場) 動詞 acheter(買う), vendre(売る)
第十三回	「いくらになりますか？」 買い物の会話練習 カフェで飲み物を注文する 数 61～100, 100以上の数
第十四回	「いくらになりますか？」 レストランでメニューを見ながら注文する：フランス料理について知る 宿題：補足練習問題
第十五回	復習 試験対策
第十六回	定期試験

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 2
開講期間 / Class period	2016/04/06 ~ 2016/07/26		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20160590033002	科目番号 / Subject code	05900330
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEFR 11319_032		
授業科目名 / Subject	フランス語 (2M1~2M3_2D1・2D2_2K1~2K3) / French III		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目(初習), 外国語科目		
対象年次 / Year	2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟36(cal12) / RoomC-36(cal12)		
対象学生(クラス等) / Object Student	2M1~2M3_2D1・2D2_2K1~2K3		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	eohashi@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	環境科学部棟 1階(123-2)		
担当教員TEL/Tel	095-819-2086		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜日 12:00 - 12:50 水曜日 12:00 - 12:50 木曜日 10:30 - 12:00		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	教科書はH27年度フランス語 で使用した<Les Bavards>を継続使用します。おしゃべりな動物たちが話すフランス語を通じて、日常の基本コミュニケーションに必要な語句、表現を身につけ、文の仕組みを明らかにする文法も併せて学んでいきます。教科書の内容だけでなく、フランス語が話されている背景であるフランスの社会や文化、歴史にも目を向けるために映像や画像、音楽も積極的に取り入れていきます。		
授業到達目標/Goal	(1)重要基本動詞の現在形活用を覚える (2)数・曜日・余暇etc.の語彙を覚える (3)一週間の予定を話す・道を尋ねる/教える・時間を言うetc.の表現を覚える		
授業方法(学習指導法) / Method	基本的に教科書に沿って授業を進めます。覚えた語彙と表現を使ってペアでコミュニケーション練習をする時間が増えてきます。		
授業内容/Class outline/Con	授業計画を参照してください。		
キーワード/Key word	フランス語 コミュニケーション		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	教科書:「レ バヴァール」(アシェットジャポン出版) 参考書: 仏和辞典:「デイリーコンサイス仏和・和仏辞典」(三省堂)を薦めます。生協にあります。または仏和・和仏辞典を搭載した電子辞書もお薦めです。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	定期試験50%、小テスト15%や課題15%、授業態度10%、Fr@ncego(自己学習)10%を総合的に判断します。		
受講要件(履修条件) / Requirements			
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL) / Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students			
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第一回	「週末は何を？」 不規則動詞faire(する)の活用・~するのが好き 趣味・スポーツの単語		
第二回	「週末は何を？」 休みの過ごし方について話す pouvoir(できる), devoir(ねばならない), vouloir(したい), savoir(できる), aller(つもり)+不定法		
第三回	「何時ですか？」 時間を尋ねる・答える表現 いろいろな時刻表現		
第四回	「何時ですか？」 時間を言う 代名動詞(se __), 倒置疑問文		

第五回	「何時ですか？」 一日の過ごし方について話す 宿題：補足練習問題
第六回	「映画に行かない？」 誘う、友達を何か・どこかに誘ってみる 曜日
第七回	「映画に行かない？」 一週間の予定を言う 主語代名詞on(私たちは・人々は)
第八回	「映画に行かない？」 一週間の予定を立てる 宿題：補足練習問題
第九回	「駅はどう行ったらいいの？」 話しかける、礼を言う ～はどこですか？ 方向の言い方
第十回	「駅はどう行ったらいいの？」 場所・道を尋ねる・答える 道案内の練習
第十一回	「駅はどう行ったらいいの？」 読み取る練習 命令法・序数(～番目の) 宿題：補足練習問題
第十二回	「いくらになりますか？」 買い物の表現：フランスのmarché(市場) 動詞 acheter(買う), vendre(売る)
第十三回	「いくらになりますか？」 買い物の会話練習 カフェで飲み物を注文する 数 6 1 ~ 1 0 0, 1 0 0 以上の数
第十四回	「いくらになりますか？」 レストランでメニューを見ながら注文する：フランス料理について知る 宿題：補足練習問題
第十五回	復習 試験対策
第十六回	定期試験

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 1
開講期間 / Class period	2016/04/06 ~ 2016/07/21		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20160590033003	科目番号 / Subject code	05900330
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEFR 11319_032		
授業科目名 / Subject	フランス語 (2L1~2L3_2P1・2P2_2F1~2F3) / French III		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	橋本 千鶴子 / Hashimoto Tiduko, 大橋 絵理 / Oohashi Eri		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	橋本 千鶴子 / Hashimoto Tiduko		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	橋本 千鶴子 / Hashimoto Tiduko		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目(初習), 外国語科目		
対象年次 / Year	2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟36(cal12) / RoomC-36(cal12)		
対象学生(クラス等) / Object Student	2L1~2L3_2P1・2P2_2F1~2F3		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	souslepont03@gmail.com		
担当教員研究室/Laboratory			
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	木曜日 12:15 - 12:40 (非常勤講師室) この時間以外は質問はLACSメッセージあるいはメールで受け付けます。とくに面会を希望する場合は申し出てください(授業の前後、メールなどで)		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	教科書はH27年度フランス語・で使用した<Les Bavards>を継続使用します。おしゃべりな動物たちが話すフランス語を通じて、日常の基本コミュニケーションに必要な語句、表現を身につけ、文の仕組みを明らかにする文法も併せて学んでいきます。教科書の内容だけでなく、フランス語が話されている背景であるフランスの社会や文化、歴史にも目を向けるために映像や画像、音楽も積極的に取り入れていきます。		
授業到達目標/Goal	(1)重要基本動詞の現在形活用を覚える (2)数・曜日・余暇etc.の語彙を覚える (3)一週間の予定を話す・道を尋ねる/教える・時間を言うetc.の表現を覚える		
授業方法(学習指導法)/Method	基本的に教科書に沿って授業を進めます。覚えた語彙と表現を使ってペアでコミュニケーション練習をする時間が増えてきます。		
授業内容/Class outline/Con	授業計画を参照してください。		
キーワード/Key word	フランス語 コミュニケーション		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	教科書:「レ バヴァール」(アシェットジャパン出版) 参考書: 仏和辞典:「デイリーコンサイス仏和・和仏辞典」(三省堂)を薦めます。生協にあります。または仏和・和仏辞典を搭載した電子辞書もお薦めです。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	定期試験50%、小テスト15%や課題15%、授業態度10%、Fr@ncego(自己学習)10%を総合的に判断します。		
受講要件(履修条件)/Requirements			
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL)/Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students			
授業計画詳細/Course Schedule			
回(日時)/Time(date and time)	授業内容/Contents		
第一回	「週末は何を？」 不規則動詞faire(する)の活用・~するのが好き 趣味・スポーツの単語		
第二回	「週末は何を？」 休みの過ごし方について話す pouvoir(できる), devoir(ねばならない), vouloir(したい), savoir(できる), aller(つもり)+不定法		
第三回	「何時ですか？」 時間を尋ねる・答える表現 いろいろな時刻表現		
第四回	「何時ですか？」 時間を言う 代名動詞(se___), 倒置疑問文		

第五回	「何時ですか？」 一日の過ごし方について話す 宿題：補足練習問題
第六回	「映画に行かない？」 誘う、友達を何か・どこかに誘ってみる 曜日
第七回	「映画に行かない？」 一週間の予定を言う 主語代名詞on(私たちは・人々は)
第八回	「映画に行かない？」 一週間の予定を立てる 宿題：補足練習問題
第九回	「駅はどう行ったらいいの？」 話しかける、礼を言う ～はどこですか？ 方向の言い方
第十回	「駅はどう行ったらいいの？」 場所・道を尋ねる・答える 道案内の練習
第十一回	「駅はどう行ったらいいの？」 読み取る練習 命令法・序数(～番目の) 宿題：補足練習問題
第十二回	「いくらになりますか？」 買い物の表現：フランスのmarché(市場) 動詞 acheter(買う), vendre(売る)
第十三回	「いくらになりますか？」 買い物の会話練習 カフェで飲み物を注文する 数 61～100, 100以上の数
第十四回	「いくらになりますか？」 レストランでメニューを見ながら注文する：フランス料理について知る 宿題：補足練習問題
第十五回	復習 試験対策
第十六回	定期試験

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 2
開講期間 / Class period	2016/04/06 ~ 2016/07/21		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20160590033004	科目番号 / Subject code	05900330
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEFR 11319_032		
授業科目名 / Subject	フランス語 (2E1~2E6) / French III		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	橋本 千鶴子 / Hashimoto Tiduko, 大橋 絵理 / Oohashi Eri		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	橋本 千鶴子 / Hashimoto Tiduko		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	橋本 千鶴子 / Hashimoto Tiduko		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目 (初習), 外国語科目		
対象年次 / Year	2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟36(cal12) / RoomC-36(cal12)		
対象学生 (クラス等) / Object Student	2E1 ~ 2E6		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	souslepont03@gmail.com		
担当教員研究室 / Laboratory			
担当教員TEL / Tel			
担当教員オフィスアワー / Office hours	木曜日 12:15 - 12:40 (非常勤講師室) この時間以外は質問はLACSメッセージあるいはメールで受け付けます。とくに面会を希望する場合は申し出てください (授業の前後、メールなどで)		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	教科書はH27年度フランス語 で使用した<Les Bavards>を継続使用します。おしゃべりな動物たちが話すフランス語を通じて、日常の基本コミュニケーションに必要な語句、表現を身につけ、文の仕組みを明らかにする文法も併せて学んでいきます。教科書の内容だけでなく、フランス語が話されている背景であるフランスの社会や文化、歴史にも目を向けるために映像や画像、音楽も積極的に取り入れていきます。		
授業到達目標 / Goal	(1) 重要基本動詞の現在形活用を覚える (2) 数・曜日・余暇etc.の語彙を覚える (3) 一週間の予定を話す・道を尋ねる/教える・時間を言うetc.の表現を覚える		
授業方法 (学習指導法) / Method	基本的に教科書に沿って授業を進めます。覚えた語彙と表現を使ってペアでコミュニケーション練習をする時間が増えてきます。		
授業内容 / Class outline / Con	授業計画を参照してください。		
キーワード / Key word	フランス語 コミュニケーション		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	教科書: 「レ バヴァール」 (アシェットジャパン出版) 参考書: 仏和辞典: 「デイリーコンサイス仏和・和仏辞典」 (三省堂) を薦めます。生協にあります。または仏和・和仏辞典を搭載した電子辞書もお薦めです。		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	定期試験 50%、小テスト 15% や課題 15%、授業態度 10%、Fr@ncego (自己学習) 10% を総合的に判断します		
受講要件 (履修条件) / Requirements			
アクセシビリティ / Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」 (障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students			
授業計画詳細 / Course Schedule			
回 (日時) / Time (date and time)	授業内容 / Contents		
第一回	「週末は何を？」 不規則動詞faire(する)の活用・~するのが好き 趣味・スポーツの単語		
第二回	「週末は何を？」 休みの過ごし方について話す pouvoir(できる), devoir(ねばならない), vouloir(したい), savoir(できる), aller(つもり)+不定法		
第三回	「何時ですか？」 時間を尋ねる・答える表現 いろいろな時刻表現		

第四回	「何時ですか？」 時間を言う 代名動詞(se___), 倒置疑問文
第五回	「何時ですか？」 一日の過ごし方について話す 宿題：補足練習問題
第六回	「映画に行かない？」 誘う, 友達を何か・どこかに誘ってみる 曜日
第七回	「映画に行かない？」 一週間の予定を言う 主語代名詞on(私たちは・人々は)
第八回	「映画に行かない？」 一週間の予定を立てる 宿題：補足練習問題
第九回	「駅はどう行ったらいいの？」 話しかける, 礼を言う ～はどこですか？ 方向の言い方
第十回	「駅はどう行ったらいいの？」 場所・道を探ねる・答える 道案内の練習
第十一回	「駅はどう行ったらいいの？」 読み取る練習 命令法・序数(～番目の) 宿題：補足練習問題
第十二回	「いくらになりますか？」 買い物の表現：フランスのmarché(市場) 動詞 acheter(買う), vendre(売る)
第十三回	「いくらになりますか？」 買い物の会話練習 カフェで飲み物を注文する 数 6 1 ~ 1 0 0, 1 0 0 以上の数
第十四回	「いくらになりますか？」 レストランでメニューを見ながら注文する：フランス料理について知る 宿題：補足練習問題
第十五回	復習 試験対策
第十六回目	定期試験



学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 1
開講期間 / Class period	2016/04/06 ~ 2016/07/26		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20160590033005	科目番号 / Subject code	05900330
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEFR 11319_032		
授業科目名 / Subject	フランス語 (2T1~2T10) / French III		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目(初習), 外国語科目		
対象年次 / Year	2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟36(cal12) / RoomC-36(cal12)		
対象学生(クラス等) / Object Student	2T1~2T10		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	eohashi@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	環境科学部棟 1階(123-2)		
担当教員TEL/Tel	095-819-2086		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜日 12:00 - 12:50 水曜日 12:00 - 12:50 木曜日 10:30 - 12:00		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	教科書はH27年度フランス語 で使用した<Les Bavards>を継続使用します。おしゃべりな動物たちが話すフランス語を通じて、日常の基本コミュニケーションに必要な語句、表現を身につけ、文の仕組みを明らかにする文法も併せて学んでいきます。教科書の内容だけでなく、フランス語が話されている背景であるフランスの社会や文化、歴史にも目を向けるために映像や画像、音楽も積極的に取り入れていきます。		
授業到達目標/Goal	(1)重要基本動詞の現在形活用を覚える (2)数・曜日・余暇etc.の語彙を覚える (3)一週間の予定を話す・道を尋ねる/教える・時間を言うetc.の表現を覚える		
授業方法(学習指導法) / Method	基本的に教科書に沿って授業を進めます。覚えた語彙と表現を使ってペアでコミュニケーション練習をする時間が増えます。		
授業内容/Class outline/Con	授業計画を参照してください。		
キーワード/Key word	フランス語 コミュニケーション		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	教科書:「レ バヴァール」(アシェットジャパン出版) 参考書: 仏和辞典:「デイリーコンサイス仏和・和仏辞典」(三省堂)を薦めます。生協にあります。または仏和・和仏辞典を搭載した電子辞書もお薦めです。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	定期試験50%、小テスト15%や課題15%、授業態度10%、Fr@ncego(自己学習)10%を総合的に判断します。		
受講要件(履修条件) / Requirements			
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL) / Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students			
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第一回	「週末は何を?」(1) 1) 不規則動詞faire(する)の活用・~するのが好き 2) 趣味・スポーツの単語		
第二回	「週末は何を?」(2) 1) 休みの過ごし方について話す 2) pouvoir(できる), devoir(ねばならない), vouloir(したい), savoir(できる), aller(つもり)+不定法 3) 宿題: 補足練習問題		
第三回	「何時ですか?」(1) 1) 時間を尋ねる・答える表現 2) いろいろな時刻表現		
第四回	「何時ですか?」(2) 1) 時間を言う 2) 代名動詞(se ), 倒置疑問文		

第五回	「何時ですか?」(3) 1) 一日の過ごし方について話す 2) 宿題: 補足練習問題
第六回	「映画に行かない?」(1) 1) 誘う, 友達を何か・どこかに誘ってみる 2) 曜日
第七回	「映画に行かない?」(2) 1) 一週間の予定を言う 2) 主語代名詞on(私たちは・人々は)
第八回	「映画に行かない?」(3) 1) 一週間の予定を立てる 2) 宿題: 補足練習問題
第九回	「駅はどう行ったらいい?」(1) 1) 話しかける, 礼を言う 2) ~はどこですか? 方向の言い方
第十回	「駅はどう行ったらいい?」(2) 1) 場所・道を尋ねる・答える 2) 道案内の練習
第十一回	「駅はどう行ったらいい?」(3) 1) 読み取る練習 2) 命令法・序数(~番目の) 3) 宿題: 補足練習問題
第十二回	「いくらになりますか?」(1) 1) 買い物の表現: フランスのmarché(市場) 2) 動詞 acheter(買う), vendre(売る)
第十三回	「いくらになりますか?」(2) 1) 買い物の会話練習 2) カフェで飲み物を注文する 数 61 ~ 100, 100以上の数
第十四回	「いくらになりますか?」(3) 1) レストランでメニューを見ながら注文する: フランス料理について知る 宿題: 補足練習問題
第十五回	復習 試験対策
第十六回	定期試験

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 1
開講期間 / Class period	2016/09/30 ~ 2017/01/26		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20160590035001	科目番号 / Subject code	05900350
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEFR 11419_032		
授業科目名 / Subject	フランス語 (2G1~2G3) / French IV		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目(初習), 外国語科目		
対象年次 / Year	2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	[多文化]総合教育研究棟3F パソコン室		
対象学生(クラス等) / Object Student	2G1~2G3		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	eohashi@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	環境科学部棟1階(123-2)		
担当教員TEL/Tel	095-819-2086		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜日 12:00 - 12:50 水曜日 12:00 - 12:50 木曜日 10:30 - 12:00		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	教科書は<Les Bavards>を引き続き使用します。おしゃべりな動物たちが話すフランス語を通じて、日常の基本コミュニケーションに必要な語句、表現を身につけ、文の仕組みを明らかにする文法も併せて学んでいきます。教科書の内容だけでなく、フランス語が話されている背景であるフランスの社会や文化、歴史にも目を向けるために映像や画像、音楽も積極的に取り入れていきます。		
授業到達目標/Goal	(1) 近接未来・近接過去、複合過去、半過去、単純未来など多様な動詞の時制を学び、できるだけ覚える。 (2) フランス語のつづりの読み方をマスターし、語句を正しく読んで覚えらるるようになる。		
授業方法(学習指導法)/Method	基本的に教科書に沿って授業を進めます。覚えた語彙と表現を使ってペアでコミュニケーション練習をする時間が増えてきます。		
授業内容/Class outline/Con	授業計画を参照してください。		
キーワード/Key word	フランス語 コミュニケーション		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	教科書:「レ バヴァール」(アシェットジャパン出版) 参考書:仏和辞典:「デイリーコンサイス仏和・和仏辞典」(三省堂)を薦めます。生協にあります。または仏和・和仏辞典を搭載した電子辞書もお薦めです。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	定期試験50%、小テスト15%や課題15%、授業態度10%、Fr@ncego(自己学習)10%を総合的に判断する		
受講要件(履修条件)/Requirements			
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL)/Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students			
授業計画詳細/Course Schedule			
回(日時)/Time(date and time)	授業内容/Contents		
第一回	「さあ春だ!」 語彙:季節・月 動詞partir(出発する)とdormir(眠る)の活用		
第二回	「さあ春だ!」 フランスの一年についての文章を読む・フランスの年中行事を知る 日付の表し方		
第三回	「さあ春だ!」 近接未来(~するつもり)と近接過去(~したばかり) 宿題:補足練習問題		
第四回	「日本に行きました」 過去のことについて語る「~した」(複合過去) 過去を表す動詞の形		
第五回	「日本に行きました」 旅行の話をする 複合過去の疑問文と否定文		

第六回	「日本に行きました」 代名動詞の複合過去 ジェロンドイフ(～しながら) 宿題：補足練習問題
第七回	「いい天気でした」 「～だった・～していた」(半過去) 動詞の半過去形
第八回	「いい天気でした」 天気表現 半過去形で誘う・提案する(～してはどうでしょう)
第九回	「いい天気でした」 間接話法における時制の一致 宿題：補足練習問題
第十回	「将来何をする？」 将来の夢・予測を語る 動詞の単純未来形
第十一回	「将来何をする？」 将来の夢を語る 宿題：補足練習問題
第十二回	「どんな色が好き？」 語彙：色 「どんな・何の」
第十三回	「どんな色が好き？」 何色が好きか尋ねる/答える 人称代名詞の強勢形
第十四回	「どんな色が好き？」 比較表現(比較級と最上級) 宿題：補足練習問題
第十五回	復習 試験対策
第十六回	定期試験

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 2
開講期間 / Class period	2016/09/30 ~ 2017/02/03		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20160590035002	科目番号 / Subject code	05900350
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEFR 11419_032		
授業科目名 / Subject	フランス語 (2L1~2L3_2P1・2P2_2F1~2F3) / French IV		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	橋本 千鶴子 / Hashimoto Tiduko		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	橋本 千鶴子 / Hashimoto Tiduko		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	橋本 千鶴子 / Hashimoto Tiduko		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目 (初習), 外国語科目		
対象年次 / Year	2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟36(cal12) / RoomC-36(cal12)		
対象学生 (クラス等) / Object Student	2L1~2L3_2P1・2P2_2F1~2F3		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	souslepont03@gmail.com		
担当教員研究室/Laboratory			
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	木曜日 12:15 - 12:40 (非常勤講師室) この時間以外は質問はLACSメッセージあるいはメールで受け付けます。とくに面会を希望する場合は申し出てください(授業の前後、メールなどで)		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	教科書は <Les Bavards>を引き続き使用します。おしゃべりな動物たちが話すフランス語を通じて、日常の基本コミュニケーションに必要な語句、表現を身につけ、文の仕組みを明らかにする文法も併せて学んでいきます。教科書の内容だけでなく、フランス語が話されている背景であるフランスの社会や文化、歴史にも目を向けるために映像や画像、音楽も積極的に取り入れていきます。		
授業到達目標/Goal	(1) 近接未来・近接過去、複合過去、半過去、単純未来など多様な動詞の時制を学び、できるだけ覚える。 (2) フランス語のつづりの読み方をマスターし、語句を正しく読んで覚えらるるようになる。		
授業方法 (学習指導法) /Method	基本的に教科書に沿って授業を進めます。覚えた語彙と表現を使ってペアでコミュニケーション練習をする時間が増えてきます。		
授業内容/Class outline/Con	授業計画を参照してください。		
キーワード/Key word	フランス語 コミュニケーション		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	教科書: 「レ・バヴァール」 (アシェットジャポン出版) 参考書: 仏和辞典: 「デイリー・コンサイズ 仏和・和仏辞典」 (三省堂) を薦めます。生協にあります。または 仏和・和仏辞典を掲載した電子辞書もお薦めです。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	定期試験 50%、小テスト 15% や課題 15%、授業態度 10%、Fr@ncego (自己学習) 10% を総合的に判断します。		
受講要件 (履修条件) /Requirements			
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) /Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students			
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第一回	「さあ春だ！」 語彙: 季節・月 動詞 partir(出発する)と dormir(眠る)の活用		
第二回	「さあ春だ！」 フランスの一年についての文章を読む・フランスの年中行事を知る 日付の表し方		
第三回	「さあ春だ！」 近接未来(～するつもり)と近接過去(～したばかり) 宿題: 補足練習問題		

第四回	「日本に行きました」 過去のことについて語る「～した」（複合過去） 過去を表す動詞の形
第五回	「日本に行きました」 旅行の話をする 複合過去の疑問文と否定文
第六回	代名動詞の複合過去 ジェロンドィフ（～しながら） 宿題：補足練習問題
第七回	「いい天気でした」 「～だった・～していた」（半過去） 動詞の半過去形
第八回	「いい天気でした」 天気表現 半過去形で誘う・提案する（～してはどうでしょう）
第九回	「いい天気でした」 間接話法における時制の一致 宿題：補足練習問題
第十回	「将来何をする？」 将来の夢・予測を語る 動詞の単純未来形
第十一回	「将来何をする？」 将来の夢を語る 宿題：補足練習問題
第十二回	「どんな色が好き？」 語彙：色 「どんな・何の」
第十三回	「どんな色が好き？」 何色が好きか尋ねる/答える 人称代名詞の強勢形
第十四回	「どんな色が好き？」 比較表現（比較級と最上級） 宿題：補足練習問題
第十五回	復習 試験対策
第十六回	定期試験

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 2
開講期間 / Class period	2016/09/30 ~ 2017/01/24		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20160590035003	科目番号 / Subject code	05900350
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEFR 11419_032		
授業科目名 / Subject	フランス語 (2M1~2M3_2D1・2D2_2K1~2K3) / French IV		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目(初習), 外国語科目		
対象年次 / Year	2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟36(cal12) / RoomC-36(cal12)		
対象学生(クラス等) / Object Student	2M1~2M3_2D1・2D2_2K1~2K3		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	eohashi@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	環境科学部棟1階(123-2)		
担当教員TEL/Tel	095-819-2086		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜日 12:00 - 12:50 水曜日 12:00 - 12:50 木曜日 10:30 - 12:00		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	教科書は<Les Bavards>を引き続き使用します。おしゃべりな動物たちが話すフランス語を通じて、日常の基本コミュニケーションに必要な語句、表現を身につけ、文の仕組みを明らかにする文法も併せて学んでいきます。教科書の内容だけでなく、フランス語が話されている背景であるフランスの社会や文化、歴史にも目を向けるために映像や画像、音楽も積極的に取り入れていきます。		
授業到達目標/Goal	(1) 近接未来・近接過去、複合過去、半過去、単純未来など多様な動詞の時制を学び、できるだけ覚える。 (2) フランス語のつづりの読み方をマスターし、語句を正しく読んで覚えらるるようになる。		
授業方法(学習指導法)/Method	基本的に教科書に沿って授業を進めます。覚えた語彙と表現を使ってペアでコミュニケーション練習をする時間が増えてきます。		
授業内容/Class outline/Con	授業計画を参照してください。		
キーワード/Key word	フランス語 コミュニケーション		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	教科書: 「レ バヴァール」(アシェットジャパン出版) 参考書: 仏和辞典: 「デイリーコンサイス仏和・和仏辞典」(三省堂)を薦めます。生協にあります。または仏和・和仏辞典を搭載した電子辞書もお薦めです。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	定期試験50%、小テスト15%や課題15%、授業態度10%、Fr@ncego(自己学習)10%を総合的に判断する		
受講要件(履修条件)/Requirements			
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL)/Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students			
授業計画詳細/Course Schedule			
回(日時)/Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第一回	「さあ春だ！」 語彙: 季節・月 動詞partir(出発する)とdormir(眠る)の活用		
第二回	「さあ春だ！」 フランスの一年についての文章を読む・フランスの年中行事を知る 日付の表し方		
第三回	「さあ春だ！」 近接未来(～するつもり)と近接過去(～したばかり) 宿題: 補足練習問題		
第四回	「日本に行きました」 過去のことについて語る「～した」(複合過去) 過去を表す動詞の形		
第五回	「日本に行きました」 旅行の話をする 複合過去の疑問文と否定文		

第六回	「日本に行きました」 代名動詞の複合過去 ジェロンドイフ(～しながら) 宿題：補足練習問題
第七回	「いい天気でした」 「～だった・～していた」(半過去) 動詞の半過去形
第八回	「いい天気でした」 天気表現 半過去形で誘う・提案する(～してはどうでしょう)
第九回	「いい天気でした」 間接話法における時制の一致 宿題：補足練習問題
第十回	「将来何をする？」 将来の夢・予測を語る 動詞の単純未来形
第十一回	「将来何をする？」 将来の夢を語る 宿題：補足練習問題
第十二回	「どんな色が好き？」 語彙：色 「どんな・何の」
第十三回	「どんな色が好き？」 何色が好きか尋ねる/答える 人称代名詞の強勢形
第十四回	「どんな色が好き？」 比較表現(比較級と最上級) 宿題：補足練習問題
第十五回	復習 試験対策
第十六回	定期試験



学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 2
開講期間 / Class period	2016/09/30 ~ 2017/01/26		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20160590035004	科目番号 / Subject code	05900350
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEFR 11419_032		
授業科目名 / Subject	フランス語 (2E1~2E6) / French IV		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	橋本 千鶴子 / Hashimoto Tiduko, 大橋 絵理 / Oohashi Eri		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	橋本 千鶴子 / Hashimoto Tiduko		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	橋本 千鶴子 / Hashimoto Tiduko		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目(初習), 外国語科目		
対象年次 / Year	2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟35(call1) / RoomC-35(call1)		
対象学生(クラス等) / Object Student	2E1~2E6		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	souslepont03@gmail.com		
担当教員研究室/Laboratory			
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	木曜日 12:15 - 12:40 (非常勤講師室) この時間以外は質問はLACSメッセージあるいはメールで受け付けます。とくに面会を希望する場合は申し出てください(授業の前後、メールなどで)		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	教科書は<Les Bavards>を引き続き使用します。おしゃべりな動物たちが話すフランス語を通じて、日常の基本コミュニケーションに必要な語句、表現を身につけ、文の仕組みを明らかにする文法も併せて学んでいきます。教科書の内容だけでなく、フランス語が話されている背景であるフランスの社会や文化、歴史にも目を向けるために映像や画像、音楽も積極的に取り入れていきます。		
授業到達目標/Goal	(1) 近接未来・近接過去、複合過去、半過去、単純未来など多様な動詞の時制を学び、できるだけ覚える。 (2) フランス語のつづりの読み方をマスターし、語句を正しく読んで覚えられるようにする。		
授業方法(学習指導法)/Method	基本的に教科書に沿って授業を進めます。覚えた語彙と表現を使ってペアでコミュニケーション練習をする時間が増えてきます。		
授業内容/Class outline/Con	授業計画を参照してください。		
キーワード/Key word	フランス語 コミュニケーション		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	教科書:「レ・バヴァール」(アシェットジャパン出版) 参考書: 仏和辞典:「デイリーコンサイス仏和・和仏辞典」(三省堂)を薦めます。生協にあります。または仏和・和仏辞典を搭載した電子辞書もお薦めです。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	定期試験50%、小テスト15%や課題15%、授業態度10%、Fr@ncego(自己学習)10%を総合的に判断する		
受講要件(履修条件)/Requirements			
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL)/Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students			
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第一回	「さあ春だ！」(1) 語彙: 季節・月 動詞partir(出発する)とdormir(眠る)の活用		
第二回	「さあ春だ！」 フランスの一年についての文章を読む・フランスの年中行事を知る 日付の表し方		
第三回	「さあ春だ！」 近接未来(~するつもり)と近接過去(~したばかり) 宿題: 補足練習問題		
第四回	「日本に行きました」 過去のことについて語る「~した」(複合過去) 過去を表す動詞の形		
第五回	「日本に行きました」 旅行の話をする 複合過去の疑問文と否定文		

第六回	「日本に行きました」 代名動詞の複合過去 ジェロンドイフ(～しながら) 宿題：補足練習問題
第七回	「いい天気でした」 「～だった・～していた」(半過去) 動詞の半過去形
第八回	「いい天気でした」 天気表現 半過去形で誘う・提案する(～してはどうでしょう)
第九回	「いい天気でした」 間接話法における時制の一致 宿題：補足練習問題
第十回	「将来何をする？」 将来の夢・予測を語る 動詞の単純未来形
第十一回	「将来何をする？」 将来の夢を語る 宿題：補足練習問題
第十二回	「どんな色が好き？」 語彙：色 「どんな・何の」
第十三回	「どんな色が好き？」 何色が好きか尋ねる/答える 人称代名詞の強勢形
第十四回	「どんな色が好き？」 比較表現(比較級と最上級) 宿題：補足練習問題
第十五回	復習 試験対策
第十六回	定期試験

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 1
開講期間 / Class period	2016/09/30 ~ 2017/01/24		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20160590035005	科目番号 / Subject code	05900350
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEFR 11419_032		
授業科目名 / Subject	フランス語 (2T1~2T10) / French IV		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	富田 高嗣 / Takatugu Tomita, 大橋 絵理 / Oohashi Eri		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	富田 高嗣 / Takatugu Tomita		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	富田 高嗣 / Takatugu Tomita		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目 (初習), 外国語科目		
対象年次 / Year	2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟22 / RoomA-22		
対象学生 (クラス等) / Object Student	2T1~2T10		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	tomita@tc.nagasaki-gaigo.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory			
担当教員TEL/Tel	長崎外国語大学 095 (840) 2000		
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業開始前		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	教科書は<Les Bavards>を引き続き使用します。おしゃべりな動物たちが話すフランス語を通じて、日常の基本コミュニケーションに必要な語句、表現を身につけ、文の仕組みを明らかにする文法も併せて学んでいきます。教科書の内容だけでなく、フランス語が話されている背景であるフランスの社会や文化、歴史にも目を向けるために映像や画像、音楽も積極的に取り入れていきます。		
授業到達目標/Goal	(1) 近接未来・近接過去、複合過去、半過去、単純未来など多様な動詞の時制を学び、できるだけ覚える。 (2) フランス語のつづりの読み方をマスターし、語句を正しく読んで覚えらるるようになる。		
授業方法 (学習指導法) /Method	基本的に教科書に沿って授業を進めます。覚えた語彙と表現を使ってペアでコミュニケーション練習をする時間が増えてきます。		
授業内容/Class outline/Con	授業計画を参照してください。		
キーワード/Key word	フランス語 コミュニケーション		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	教科書: 「レ バヴァール」 (アシェットジャパン出版) 参考書: 仏和辞典: 「デイリーコンサイス仏和・和仏辞典」 (三省堂) を薦めます。生協にあります。または仏和・和仏辞典を搭載した電子辞書もお薦めです。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	定期試験 50%、小テスト 15%や課題 15%、授業態度 10%、Fr@ncego (自己学習) 10%を総合的に判断する		
受講要件 (履修条件) /Requirements			
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) /Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students			
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第一回	「さあ春だ！」 語彙: 季節・月 動詞partir(出発する)とdormir(眠る)の活用		
第二回	「さあ春だ！」 フランスの一年についての文章を読む・フランスの年中行事を知る 日付の表し方		
第三回	「さあ春だ！」 近接未来(～するつもり)と近接過去(～したばかり) 宿題: 補足練習問題		
第四回	「日本に行きました」 過去のことについて語る「～した」(複合過去) 過去を表す動詞の形		
第五回	「日本に行きました」 旅行の話をする 複合過去の疑問文と否定文		

第六回	「日本に行きました」 代名動詞の複合過去 ジェロンドイフ(～しながら) 宿題：補足練習問題
第七回	「いい天気でした」 「～だった・～していた」(半過去) 動詞の半過去形
第八回	「いい天気でした」 天気表現 半過去形で誘う・提案する(～してはどうでしょう)
第九回	「いい天気でした」 間接話法における時制の一致 宿題：補足練習問題
第十回	「将来何をする？」 将来の夢・予測を語る 動詞の単純未来形
第十一回	「将来何をする？」 将来の夢を語る 宿題：補足練習問題
第十二回	「どんな色が好き？」 語彙：色 「どんな・何の」
第十三回	「どんな色が好き？」 何色が好きか尋ねる/答える 人称代名詞の強勢形
第十四回	「どんな色が好き？」 比較表現(比較級と最上級) 宿題：補足練習問題
第十五回	復習 試験対策
第十六回	定期試験